



* 5 0 6 6 0 5 1 0 1 * (1)

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン

液晶テレビ

取扱説明書・保証書 (裏表紙)

テレビを見る

録画する

再生・編集する

設定する

オプションを使う

他機器を接続する

困ったときは

安全のために／その他

BRAVIA

⚠ 警告 安全のために

→ 54~59 ページもあわせてお読みください。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあります。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

「安全のために」(54~59 ページ)のご注意をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

定期的に点検する

お買い上げ時とそのあと1年に1度は「長年ご使用のテレビの点検を！」(53 ページ)の症状がないかを点検してください。

内部にホコリがたまつまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。また、本機の通風孔付近にホコリが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ホコリを吸い取ることをおすすめします。1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- ・ テレビ内部から異常な音がしたら
- ・ 内部に水などが入ったら
- ・ 内部に異物が入ったら
- ・ テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーご相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



風呂・シャワー室
での使用禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコン
セントから抜く

目次

テレビを見るための準備.....	組み立て／設置ガイド(別紙)
各部のなまえ(本体ボタン／接続端子／リモコン)	6
テレビを見る	
テレビを見る	10
番組表で探す	11
連動データ放送を楽しむ	12
独立データ放送やラジオ放送を楽しむ	13
録画する	
録画／予約について	14
見ている番組を録画する	15
番組表から録画／予約する	16
日時／毎日／毎週を指定して予約する	18
録画に関する設定をする	19
予約を確認・変更する	20
再生・編集する	
録画した番組を再生する	23
録画した番組を消去・編集する	26
BDレコーダーの映像やパソコンの画像を見る	27
設定する	
テレビの設定・調整をする	28
オプションを使う	
オプションで操作する	34
他機器を接続する	
USBハードディスクをつなぐ	36
BDレコーダーやゲーム機などをつなぐ	39
オーディオ機器をつなぐ	40
パソコンをつなぐ	41
インターネットにつなぐ	42

困ったときは

故障かな？と思ったら	45
サポートページで最新の情報を調べる	51
保証書とアフターサービス	52
ソニーの相談窓口のご案内	52

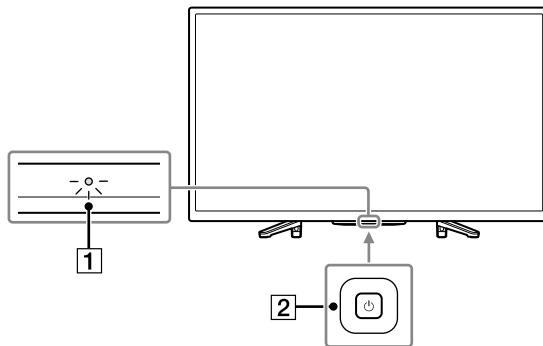
安全のために／その他

安全のために	54
使用上のご注意／お手入れ	60
録画・再生機能についてのご注意	61
主な仕様	63
文字を入力する	65
再設置する／テレビを壁に取り付けて使う	67
ソフトウェアの更新	67
ソフトウェアに関する重要なお知らせ	68
索引	70
保証書	裏表紙

本書で使われている画面などのイラストはイメージであり、実際の表示と異なる場合があります。

各部のなまえ(本体ボタン／接続端子／リモコン)

本体ボタン



① LED

テレビの状態によって、白色または赤色に点灯・点滅します。

- 点灯(白色)
テレビの電源を入れたとき、録画中、録画予約待機中、オンタイマー・スリープタイマー動作中
- 点滅(白色)
リモコン操作中
- 点滅(赤色)
エラー検出時
- 消灯
電源スタンバイ時または本体の電源ボタンで電源を切ったとき

ご注意

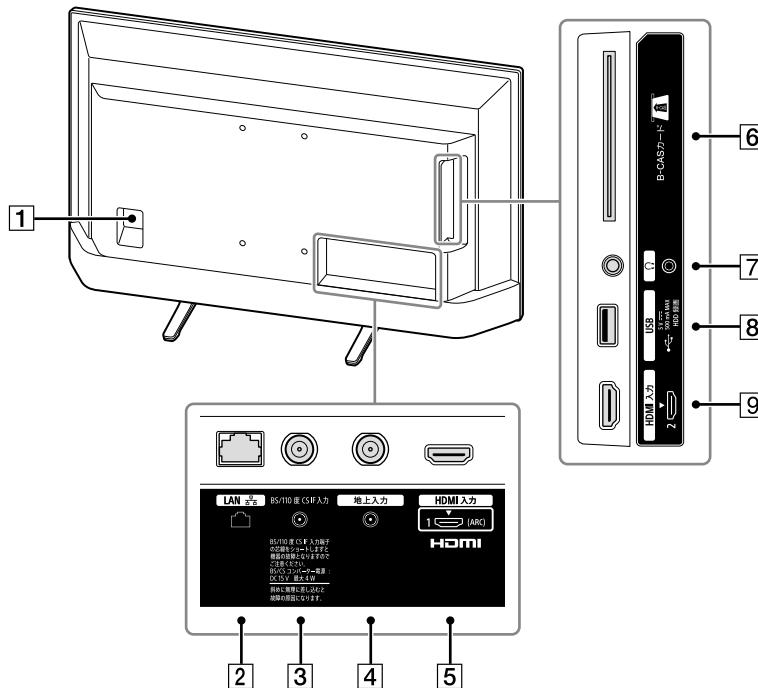
- LEDの付近にリモコン受光部やセンサーがあるため、前に物を置かないでください。

② ⏻(電源)ボタン

電源を入／切します。

電源ボタンでは電源を完全に切ることはできません。
電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続端子



① 電源入力端子

付属の電源コードをつなぎます。

② LAN端子

別売のLANケーブルでモ뎀やルーターにつないで、テレビをネットワークに接続します。

③ BS/110度CS IF入力端子

衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15/11Vの直流電圧が出ています。

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

④ 地上入力端子

UHF用同軸アンテナ接続ケーブルや、ケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

⑤ HDMI1入力端子

BDレコーダー／プレーヤーなどのHDMI端子につなぎます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は、デジタル映像・音声入出力インターフェイス規格です。

HDMI端子のあるAV機器と接続できます。

ARC (Audio Return Channel) に対応しています。

⑥ B-CASカード挿入口

付属のB-CASカードを挿入します。

⑦ ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。あるいは、別売の音声ケーブルをオーディオ機器の音声入力端子につなぎます。

⑧ USB端子

USBハードディスク機器をつなぐと、デジタル放送の録画ができます。

ご注意

- 大きなUSB機器を接続すると、他の接続した機器とぶつかることがあります。

⑨ HDMI2入力端子

BDレコーダー／プレーヤーなどのHDMI端子につなぎます。

ARC (Audio Return Channel) に対応したオーディオ機器と接続する場合は、HDMI1入力端子をお使いください。

19 オプション

そのときに利用できる機能の一覧を表示するときに押します。

20 10キー

数字ボタンでチャンネルを選ぶときに、先に10キーボタンを押すと、チャンネル番号を10キー入力できます。

21 チャンネル+/-

チャンネルを切り換えるときに押します。

22 消音

音を消したいときに押します。音量+ボタンを押すと、音声が出ます。

23 字幕

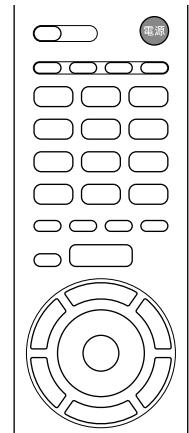
字幕の表示／非表示を切り換えるときに押します。

(ヒント)

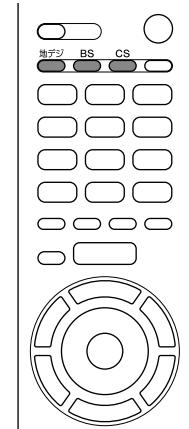
- (再生)ボタン、音声切換ボタン、数字ボタンの[5]、チャンネル+ボタンには凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

テレビを見る

- 1 電源ボタンを押す。



- 2 地デジまたはBS、CSボタンを押して、放送を選ぶ。



- 3 チャンネル+/-ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

数字ボタンを押して、数字ボタンに設定されているチャンネルに切り換えることもできます。

■ 3桁のチャンネル番号を入力するには

10キー+ボタンを押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力します。

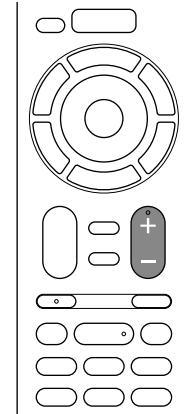
例) 011チャンネルを選ぶ場合

10キー → 10 → 1 → 1

■ 枝番のあるチャンネルを選局するには

オプションボタンを押して「枝番選局」を選び、▲/▼ボタンで選局し、決定ボタンを押します。

選局後、戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。



(ヒント)

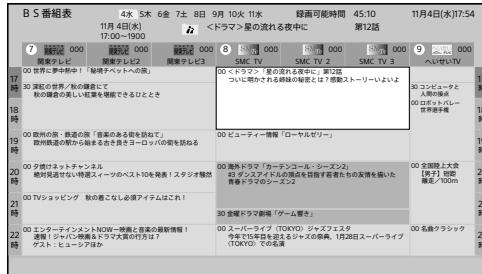
- オプションボタンを押すと、そのときに利用できる機能の一覧が表示されます。使いたい機能をすばやく探せるので便利です(34ページ)。
- テレビ番組の視聴中に一時停止ボタンを押すと、映像を止めることができます(音声と字幕は停止しません)。解除するには、もう一度、一時停止ボタンを押してください。

番組表で探す

放送局が送信する番組情報をもとに、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの8日分の番組表を表示できます。

1 番組表ボタンを押す。

2 見たい番組を選び、決定ボタンを押す。



- 放送の種類を変更するには
地デジまたはBS、CSボタンを押します。
- 翌日／前日に表示を切り換えるには
黄ボタン／緑ボタンを押します。

3 [今すぐ見る]を選び、決定ボタンを押す。

- 番組内容画面の項目間を移動するには
番組内容画面には番組内容や詳細情報、放送方式などの属性が表示されます。右の項目に移動するときは赤ボタン、左の項目に移動するときは青ボタンを押します。
- 選局しないで元の画面に戻るには
戻るボタンを押します。

ご注意

- 番組の中止／変更／延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。

番組表が空欄のときは

1 番組表の表示中に、空欄になっている放送局を選び、決定ボタンを押す。

放送局から番組情報を取得します。しばらくお待ちください。

ご注意

- 番組情報の取得中は映像や音声が出ないことがあります。
- 録画中は番組情報を取得できません。
- 番組情報の取得中に他の操作をすると、取得が中止になることがあります。

(ヒント)

- 番組表を最新にしておくために、毎日2時間以上テレビを電源スタンバイにすることをお勧めします。電源コードを抜いていたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりすると、番組情報を取得できません。リモコンの電源ボタンで電源スタンバイにしてください。

番組表の表示内容を変更するには

1 番組表の表示中に、オプションボタンを押す。

2 [表示内容]を選ぶ。

3 項目を選び、決定ボタンを押す。

- [設定チャンネル]
[チャンネル設定]で設定したチャンネルのみ表示します。
- [テレビのみ]
テレビのチャンネルのみ表示します。データ放送やラジオ放送のチャンネルは表示しません。
- [全チャンネル]
テレビおよびデータ放送、ラジオ放送のすべてのチャンネルを表示します。

ジャンルで番組を探す

- 1 番組表ボタン – オプションボタンを順に押す。
- 2 [番組の検索] – [ジャンル検索]を↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。
- 3 メインジャンル – サブジャンルを↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。
- 4 見たい番組を選び、決定ボタンを押す。

視聴予約する

視聴予約をすると、放送開始時に自動でチャンネルが切り換わります。

- 1 番組表ボタンを押す。
- 2 視聴予約したい番組を選び、決定ボタンを押す。
- 3 [視聴予約]を選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

(ヒント)

- 日時を指定して視聴予約することもできます(18 ページ)。

連動データ放送を楽しむ

ドラマのあらすじや出演者情報を確認するなど、番組に連動しているデータ放送を見るすることができます。双方向サービスが行なわれている番組に参加して楽しむこともできます。番組関連の情報以外にもニュースや天気予報など、さまざまなデータ放送があります。

- 1 デジタル放送の視聴中に、d(連動データ)ボタンを押す。
- 2 ↑/↓/↔/→ボタンやカラーボタンなどを使って、画面の指示に従って操作する。

連動データ放送を終了するには、d(連動データ)ボタンを押します。

ご注意

- 双方向サービスを利用するには、インターネットの接続が必要です。電話回線接続によるサービスには対応していません。
- 双方向サービスでは個人情報の入力が必要になることがあります。SSLなどのセキュリティ対策が行なわれていないことがありますのでご注意ください。
- 双方向サービスの通信に時間がかかり、すぐに次の操作ができないことがあります。
- 双方向サービスの利用時は、電源プラグを抜かないでください。テレビで記憶しているお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

(ヒント)

- 郵便番号を設定すると、天気予報など地域の情報を見るることができます。

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

データのみを専門に扱っている独立データ放送や、ラジオ放送を楽しめます。

1 地デジまたはBS、CSボタンを押して、放送の種類を選ぶ。

2 番組表ボタンを押す。

3 データ放送またはラジオ放送の番組を選び、決定ボタンを押す。

4 [今すぐ見る]を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。

録画／予約について

録画に使用できる機器

USBケーブルでテレビにつないだ、160GB以上のUSBハードディスク機器に録画できます。録画／予約する前に、テレビに接続し、登録します(36 ページ)。

録画できる番組／番組数

- デジタル放送のテレビ番組を録画できます。独立データ放送やラジオ放送、接続機器の映像・音声は録画できません。
- 1台のUSBハードディスク機器に録画できる番組数は3,000です。最大予約数は64です。

録画可能時間

実際の録画時間は放送される番組によって異なることがあります。

	USBハードディスク機器の容量		
	500GB	1TB	2TB
地上デジタル(HD)放送	約60時間	約121時間	約242時間
BSデジタル(HD)放送	約43時間	約86時間	約172時間
BSデジタル(SD)放送	約86時間	約172時間	約344時間

(ヒント)

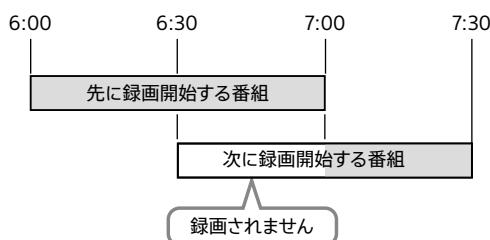
- 録画可能時間は、予約リスト画面などで確認できます。

録画／予約の優先順位

同じ時間帯に録画／予約が重なった場合は、「録画予約」が最優先され、次に「録画ボタンでの録画」、最後に「視聴予約」の優先順位となります。優先順位の低い録画／予約は、中止または取り消しとなります。

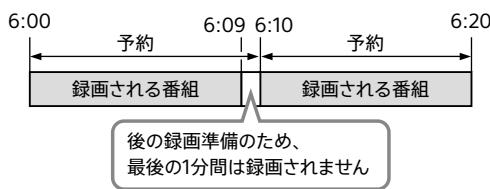
予約時間の一部が重なったときは

先に開始した録画が終わるまで、次の予約は開始しません。



前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じときは

後の予約番組を最初から録画するため、前の予約は終了予定時刻より早く録画停止され、最後の1分間は録画されません。



録画・再生機能についてのご注意

詳しくは、61 ページをご覧ください。

見ている番組を録画する

あらかじめUSBハードディスク機器を接続し、録画用に登録してください(36 ページ)。

1 番組視聴中に、録画ボタンを押す。

録画が始まります。

【録画ボタン設定】によって、録画は自動で停止します(19 ページ)。

(ヒント)

- ・録画ボタンでの録画中に、予約した番組の録画が始まる場合、予約の録画が優先されます。

録画を途中で止めるには

1 停止ボタンを押す。

2 確認画面で[はい]を選び、決定ボタンを押す。

録画中の番組を再生するには(追いかけ再生)

1 再生ボタンを押す。

2 録画中の番組を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- ・録画中に再生すると、再生画像に影響が出ることがあります。

録画する

番組表から録画／予約する

あらかじめUSBハードディスク機器を接続し、録画用に登録してください(36 ページ)。

1 番組表ボタンを押す。

2 録画したい番組を選び、録画ボタンを押す。

予約が完了し、番組表に予約アイコンが表示されます。

放送中の番組を選ぶと、録画が始まります。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

さまざまな方法で番組表から予約する

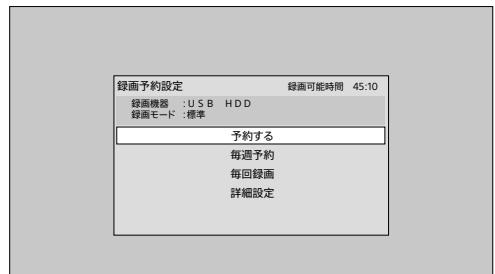
予約日時の微調整や、毎日／毎週／毎回録画されるよう設定して予約できます。録画番組のプロテクト(保護)も設定できます。

1 番組表ボタンを押す。

2 録画したい番組を選び、決定ボタンを押す。

3 [録画予約]を選び、決定ボタンを押す。

4 必要に応じて予約方法を選び、画面の指示に従って設定する。



- [毎週予約]

予約日時の微調整や、毎日／毎週同じ時間帯に放送される番組を予約できます。予約完了メッセージが表示されたあと[設定変更]を選び、予約日時などを修正してください(18 ページ)。

- [毎回録画]

番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから同じシリーズの番組を自動的に予約し、毎回録画します。放送日や放送時間が異なっていても予約されます。[毎回録画]は、24件まで設定できます。

- [詳細設定]

[その他の設定]を選ぶと、録画した番組を誤つて消去しないようにプロテクトを設定できます。設定後、戻るボタンを押して録画予約設定画面に戻します。

5 [予約する]を選び、決定ボタンを押す。

手順4で[毎週予約]／[毎回録画]を選んだときは、手順5を行なう必要はありません。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

ご注意

- 番組名が極端に短いときや大幅に異なるときは、[毎回録画]が行なわれないことがあります。
- 同じ番組が1日に複数回放送されるときは、1回だけ[毎回録画]が行なわれます。
- [毎回録画]を設定してから次回の予約が設定されるまで、1日かかることがあります。
- USBハードディスク機器が起動中／終了処理中など、機器の状態によっては、[毎回録画]が行なわれないことがあります。
- 次回の放送時間が90分以上前後すると、[毎回録画]が行なわれないことがあります。

予約が重なったときは

- 1 予約重複のメッセージが表示されたときは[はい]を選び、決定ボタンを押す。
- 2 予約を取り消したい番組を選び、消去ボタンを押す。
- 3 確認画面で[はい]を選び、決定ボタンを押す。

毎回録画の設定を一時的に解除するには

長期間、留守にするときなどに解除します。

- 1 ホームボタンを押す。
- 2 [設定] – [機器設定] – [録画設定]を \uparrow/\downarrow ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。
- 3 [自動予約]で[切]を選び、決定ボタンを押す。

[毎回録画]を再開するときは[入]を選んでください。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

ジャンルで検索して予約する

- 1 番組表ボタン – オプションボタンを順に押す。
- 2 [番組の検索] – [ジャンル検索]を \uparrow/\downarrow ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。
- 3 メインジャンル – サブジャンルを \uparrow/\downarrow ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。
- 4 録画したい番組を選び、決定ボタンを押す。
- 5 [録画予約]を選び、決定ボタンを押す。
- 6 [予約する]を選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

録画する

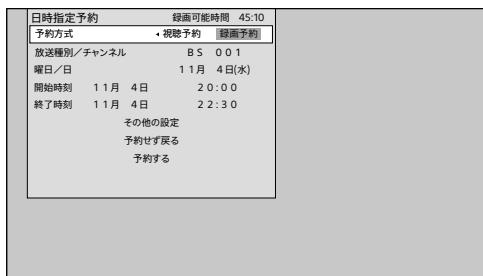
日時／毎日／毎週を指定して予約する

あらかじめUSBハードディスク機器を接続し、録画用に登録してください(36 ページ)。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定] - [タイマー設定] - [日時指定予約]を↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

3 項目を選び、設定する。



- [予約方式]
[視聴予約]または[録画予約]を選びます。
- [放送種別／チャンネル]
放送の種類(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)とチャンネルを設定します。
- [曜日／日]
曜日と日にちを設定します。[毎日]や[毎週]も設定できます。
- [開始時刻]
予約開始時刻を設定します。
- [終了時刻]
予約終了時刻を設定します。
- [その他の設定]
録画した番組を誤って消去しないように、プロテクト(保護)を設定できます。
設定するときは決定ボタンを押してから、[録画番組のプロテクト]で[する]を選びます。設定後、戻るボタンを押して日時指定予約画面に戻ります。

4 [予約する]を選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

録画に関する設定をする

録画停止方法を設定する

録画ボタンを押して録画したときに、停止するタイミングを設定します。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定] - [機器設定] - [録画設定]を
↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

3 [録画ボタン設定]で項目を選び、決定ボタンを押す。

- ・[番組終了]
番組が終了すると、録画を自動停止します。
- ・[3時間録画]
録画開始から3時間が経過すると、録画を自動停止します。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

オートチャプターの設定をする

番組を録画中に、自動でチャプターマークを付けるための設定をします。チャプターマークを付けると、再生したい場面を探すときに便利です(24 ページ)。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定] - [機器設定] - [録画設定]を
↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

3 [オートチャプター]で項目を選び、決定ボタンを押す。

- ・[入]
番組を録画中に、自動でチャプターマークを付けます。
- ・[切]
自動でチャプターマークを付けません。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

動作していないときに電源スタンバイにする

USBハードディスク機器が動作していないときに、電源スタンバイにするかどうかを設定します。電源スタンバイにすると、消費電力を抑えられます。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定] - [機器設定] - [録画設定]を
↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

3 [USB HDD省電力]で項目を選び、決定ボタンを押す。

- ・[入]
USBハードディスク機器がしばらく動作していないと、電源スタンバイになります。
- ・[切]
電源スタンバイになりません。設定変更後、USBハードディスク機器で再生や録画をしたり、電源を入れ直したりすると、[切]の設定が有効になります。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

録画する

ご注意

- ・[入]にすると、録画や再生の開始時に電源スタンバイからUSBハードディスク機器を起動するため、実際に開始するまでに時間がかかります。視聴中の番組を録画するときは、録画ボタンを押してから実際に録画が開始するまでに時間がかかります。
- ・USBハードディスク機器によっては、テレビ側の設定に関わらず、USBハードディスク機器の省エネ機能によって電源スタンバイになることがあります。

予約を確認・変更する

予約リスト画面で確認する

1 ホームボタンを押す。

2 [予約リスト]を選び、決定ボタンを押す。

3 通常予約の一覧を表示するときは青ボタン、[毎回録画]の一覧を表示するときは赤ボタンを押す。



予約と履歴が64件まで表示されます。

予約リスト画面の右側には、予約状態を示すアイコンが表示されます。

録画: 録画予約した番組
[USB HDD]

毎回録画: [毎回録画]で自動予約された番組
[次回未定]

次回未定: [毎回録画]で次回録画する番組が見つかっていないとき

見るだけ: 視聴予約した番組
[実行中]

実行中: 録画中の番組
[済]

済: 予約時間が終了した番組
[済取消]

済取消: 予約を取り消したり、USBハードディスク機器の状態によって録画が取り消されたりした番組
[済おじせ]

済おじせ: 予約実行の中止、時間の変更、指定の信号で録画できない、USBハードディスク機器が正しく動作していないときなど

重複: 予約時間が重なっていたときの優先度が低い予約

変更 : 受信チャンネルの変更などで、予約が行なわれないとき

毎日／毎週など : 繰り返し指定の予約番組

標準 : 録画モード(変更はできません)

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

予約を変更する

予約日時の微調整や、毎日／毎週／毎回録画されるよう変更できます。録画番組のプロテクト(保護)も設定できます。

1 予約リスト画面を表示する(20ページ)。

2 変更したい予約を選び、決定ボタンを押す。

3 [設定変更]を選ぶ。

4 項目を選び、画面の指示に従って変更する。

- [毎週予約に変更する]

予約日時の微調整や、毎日／毎週同じ時間帯に放送される番組を予約できます(18 ページ)。

- [毎回録画に変更する]

番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから同じシリーズの番組を自動的に予約し、毎回録画します。放送日や放送時間が異なっていても予約されます。[毎回録画]は、24件まで設定できます。

- [詳細設定]

[視聴予約]と[録画予約]を切り換えたり、[その他の設定]で録画した番組を誤って消去しないようにプロテクトを設定したりできます。設定後、戻るボタンを押して設定変更画面に戻します。

5 [修正する]を選び、決定ボタンを押す。

手順4で[毎回録画]を選んだときは、手順5を行なう必要はありません。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

予約を削除する

1 予約リスト画面を表示する(20ページ)。

2 削除したい予約を選び、消去ボタンを押す。

3 確認画面が表示されたら[はい]を選び、決定ボタンを押す。

■ [毎回録画]の予約のときは
続けて表示される画面で[毎回録画]の設定を削除するかどうかを選びます。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

予約履歴をまとめて削除する

実行済みの予約履歴をまとめて削除できます。

-
- 1** 予約リスト画面を表示する(20ページ)。
 - 2** オプションボタンを押す。
 - 3** [全履歴削除] を選び、決定ボタンを押す。
 - 4** 確認画面で[はい] を選び、決定ボタンを押す。
-

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

録画した番組を再生する

USBハードディスク機器に録画した番組を再生します。

1 録画リストボタンを押す。

2 [全チャンネル]または[未視聴]、[ドラマ]など、分類を選ぶ。

[未視聴]や[ドラマ]を選ぶと、録画リスト画面の表示が選んだ分類で絞り込まれます。



録画リスト画面には、録画番組のチャンネルや開始時間、番組名のほか、以下のアイコンが表示されます。

NEW:未視聴の番組

●:録画中の番組

🔒:誤って消去しないようプロテクト（保護）した番組

まとめ: [毎回録画]または日時指定予約で[毎日]/[毎週]を選んで録画した番組。[番組数]にまとめ番組に含まれる数を表示

3 再生したい番組を選び、決定ボタンを押す。

■まとめ番組のアイコンが付いた番組を選んだときは

まとめられている番組の一覧に切り換わります。再生したい番組を選んで決定ボタンを押すと、再生が始まります。

■前回、再生を途中で停止した番組を選んだときは
続きから再生するか、最初から再生するかを選びます。

ご注意

- 録画中に再生すると、再生画像に影響が出ることがあります。

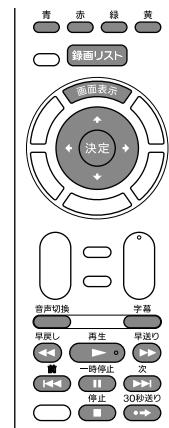
（ヒント）

- 録画開始直後の番組は、録画リスト画面に表示されるまでに時間がかかることがあります。
- USBハードディスク機器に記録されている情報によっては、録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。
- 録画中の番組も再生できます（追いかけ再生）。

再生を停止するには

1 停止ボタンを押す。

再生中に使えるリモコンのボタン



（ ）内のボタンでも同様に操作できます。

ボタン	できること
緑ボタン	チャプター一覧を表示します。
黄ボタン	指定した範囲を繰り返し再生します（ABリピート）。
録画リストボタン	録画リスト画面を表示します。
画面表示ボタン	番組名や再生状態などを表示します。

音声切換ボタン	副音声や第2音声に切り替えます。
字幕ボタン	字幕の表示／非表示を切り替えます。
早戻しボタン／ 早送りボタン (\leftarrow/\rightarrow ボタン)	<ul style="list-style-type: none"> 再生中に押すと、早戻し再生／早送り再生します。 ボタンを押したままになると、5段階で速度が変わります。 再生ボタンを押すと、通常の再生速度に戻ります。
再生ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 再生を始めます。 再生中に再生ボタンを押したままになると、1.3倍の速さで音声付き早送り再生になります。もう一度押すと、通常の再生速度に戻ります。録画中は音声付き早送り再生はできません。 テレビ放送や外部入力の画面表示中に再生ボタンを押すと、録画リスト画面が表示されます。
前ボタン／ 次ボタン (青ボタン／ 赤ボタン)	<ul style="list-style-type: none"> 再生中に押すと、現チャプターの先頭／次のチャプターに移動します。 前ボタンを2回続けて押すと、1つ前のチャプターの先頭に移動します。 番組をまたいだ移動はできません。
一時停止ボタン (決定ボタン)	<ul style="list-style-type: none"> 再生中に押すと、一時停止します。 一時停止中に押すと、再生を再開します。
停止ボタン	再生を停止します。
30秒送りボタン	30秒先に移動します。

チャプターを選んで再生する

1 録画リストボタンを押す。

2 番組を選び、緑ボタンを押す。

3 再生を開始したいチャプターを選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- まとめ番組では、チャプターを選べません。

(ヒント)

- 録画番組の再生中に緑ボタンを押して、チャプターを選ぶこともできます。

繰り返し再生する(ABリピート)

指定した範囲をリピート再生します。

1 録画番組の再生中に、リピート再生の開始位置(A点)で黄ボタンを押す。

2 リピート再生の終了位置(B点)で黄ボタンを押す。

リピート再生を解除するには

1 黄ボタンを押す。

字幕言語を変更する

- 1 録画番組の再生中に、オプションボタンを押す。
- 2 [字幕言語] を選び、決定ボタンを押す。
- 3 [日本語] または [英語] を選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

音声信号を切り換える

「音声1」、「音声2」など複数の音声信号が記録されている番組では、音声信号を切り換えることができます。記録されている音声信号は、番組によって異なります。

- 1 録画番組の再生中に、オプションボタンを押す。
- 2 [音声切換] を選び、決定ボタンを押す。
- 3 出力したい音声信号を選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

二重音声を切り換える

主音声と副音声が記録されている番組では、音声を切り換えることができます。

- 1 録画番組の再生中に、オプションボタンを押す。
- 2 [二重音声] を選び、決定ボタンを押す。
- 3 主音声、副音声、または主音声+副音声のどれかを選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

視聴制限を一時的に解除する

- 1 録画リストボタン – オプションボタンを順に押す、または録画番組の再生中に、オプションボタンを押す。
- 2 [視聴制限一時解除] を選び、決定ボタンを押す。
- 3 暗証番号を入力する。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

(ヒント)

- 暗証番号が未登録の場合は、上記の手順で暗証番号を登録できます。

録画した番組を消去・編集する

不要な番組を消去する

1 消去ボタンを押す。

2 消去したい番組を選び、消去ボタンを押す。

■ 複数の番組をまとめて消去するには

消去したい番組を選び、青ボタンを押します。この操作を繰り返して消去したい番組をすべて選んでから、消去ボタンを押します。

■ プロテクト(保護)されている番組を消去するには
プロテクトを解除してから、消去ボタンを押します。

3 確認画面で[はい]を選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

消去されないようにプロテクト(保護)する

1 録画リストボタンを押す。

2 プロテクトしたい番組を選び、オプションボタンを押す。

■ 複数の番組をまとめてプロテクトするには

プロテクトしたい番組を選び、青ボタンを押します。この操作を繰り返してプロテクトしたい番組をすべて選んでから、オプションボタンを押します。

3 [プロテクト設定変更]を選び、決定ボタンを押す。

番組がプロテクトされ、録画リスト画面に \blacksquare が表示されます。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

ご注意

- ・録画中の番組は、プロテクトできません。
- ・番組をプロテクトしても、USBハードディスク機器をテレビに再登録すると、初期化されるため、番組は消去されます。

プロテクトを解除するには

1 録画リストボタンを押す。

2 プロテクトを解除したい番組を選び、オプションボタンを押す。

■ 複数の番組をまとめて解除するには
プロテクトを解除したい番組を選び、青ボタンを押します。この操作を繰り返してプロテクトを解除したい番組をすべて選んでから、オプションボタンを押します。

3 [プロテクト設定変更]を選び、決定ボタンを押す。

番組のプロテクトが解除され、録画リスト画面の \blacksquare が消えます。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

番組名を変更する

1 録画リストボタンを押す。

2 番組名を変更したい番組を選び、オプションボタンを押す。

3 [番組名編集] を選び、決定ボタンを押す。

4 画面の指示に従って、番組名を変更する。

文字入力については、65 ページをご覧ください。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

ご注意

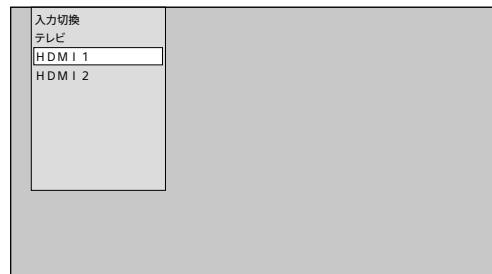
- 以下の番組は、番組名を変更できません。
 - プロテクト(保護)されている番組
 - 録画中の番組
 - まとめ番組のグループ名
- チェックマークの付いた番組があると、番組名は変更できません。チェックマークが付いた番組を選んで青ボタンを押し、チェックマークを外してください。

BDレコーダーの映像やパソコンの画像を見る

1 入力切換ボタンを押して、入力切換画面を表示する。

2 入力切換ボタンを繰り返し押して、入力を選ぶ。

テレビとパソコンをHDMIケーブルでつないだ場合は[HDMI1]または[HDMI2]を選びます。



(ヒント)

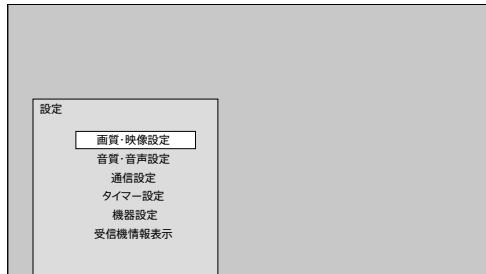
- HDMI入力端子につないだ機器がHDMI機器電源連動に対応している場合は、テレビとHDMI機器の電源が連動して入／切するように設定できます(32 ページ)。
- パソコンの画像を見るときは、パソコン側で外部出力設定をしてください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの対応信号については、64 ページをご覧ください。

テレビの設定・調整をする

設定画面で画質や音質などのさまざまな設定ができます。表示される項目は、使用状況によって異なります。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定]—設定したい項目を↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。



設定項目については、記載されているページをご覧ください。

- 画質・映像設定 (28 ページ)
- 音質・音声設定 (29 ページ)
- 通信設定 (30 ページ)
- タイマー設定 (31 ページ)
- 機器設定 (31 ページ)
- 受信機情報表示 (33 ページ)

設定が終わったら戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

画質・映像設定

画質モード

ダイナミック: 映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像になります。

スタンダード: 家庭での使用にあわせ、自然さを重視した標準的な映像になります。通常は[スタンダード]がおすすめです。

カスタム: 好みにあわせて細かく調整します。

バックライト

左に動かすと画面が暗くなり、右に動かすと明るくなります。

ピクチャー

左に動かすと明暗の差が小さくなり、右に動かすと大きくなります。

明るさ

左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。

色の濃さ

左に動かすと色が薄くなり、右に動かすと濃くなります。

色あい

左に動かすと色あいが赤みがかり、右に動かすと緑がかります。

シャープネス

左に動かすと映像の輪郭が柔らかくなり、右に動かすとはっきりとします。

色温度

低／中／高: 高い温度ほど青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。

ライブカラー

入／切: [入]を選びと、色の鮮やかさを強調します。

アドバンスト C.E.

入／切: [入]を選びと、映像の明るさを判別し、コントラストを自動で調整します。特に、黒でつぶれやすい暗いシーンで効果があり、細部まで表現力豊かに再現します。

ノイズリダクション

自動／強／中／弱: ノイズの多さに応じて強さを選び、映像のざらつきや色ノイズを軽減します。

切: ノイズ処理していないオリジナル映像信号になります。映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色がにじんだりすることがあります。

MPEGノイズリダクション

強／中／弱: デジタル特有のモスキートノイズ(文字の輪郭などに蚊が飛んでいるように見えるノイズ)やブロッケノイズ(モザイク状のノイズ)を低減します。

切: ノイズ処理をしていないオリジナル映像信号になります。

詳細設定入切

入／切: [画質モード]で[カスタム]を選んだときに[入]を選び、画質の詳細設定ができます。

画質の詳細設定

黒補正: 左に動かすと黒が弱まり、右に動かすと黒を強調してコントラストが強くなります。

色温度調整(Rゲイン／Gゲイン／Bゲイン／Rバイアス／Gバイアス／Bバイアス／調整の初期化): 赤(R)、緑(G)、青(B)を色ごとに細かく調整します。
[調整の初期化]を選ぶと、[色温度調整]の項目をお買い上げ時の設定に戻します。

ガンマ設定(最小／-1／標準／+1／最大／調整の初期化): 映像の明暗のバランスを調整します。
[調整の初期化]を選ぶと、[ガンマ設定]をお買い上げ時の設定に戻します。

調整の初期化: [画質の詳細設定]の項目をお買い上げ時の設定に戻します。

シネマ設定

シネマドライブ(入／切): [入]を選ぶと、映画フィルム映像をより原画に忠実な映像に再現します。[入]にしていて輪郭がギザギザして見えるときは[切]を選んでください。

画面モード

ワイド切り替え(オートワイド／フル／ワイドズーム／ノーマル／ズーム): お好みの画面モードに切り替えます。

ご注意

・番組情報が表示されているときや見ている番組によっては、[ワイド切り替え]が有効にならないことがあります。

表示領域(標準／+1): [+1]を選ぶと、オリジナルの映像領域で表示します。通常は[標準]がおすすめです。

垂直位置: 画像の垂直位置と画像サイズを変更します。

4:3映像(ノーマル／ワイドズーム): [ワイド切り替え]で[オートワイド]を選んだときに、4:3映像の表示方法を選びます。

調整の初期化

[画質・映像設定]の項目をお買い上げ時の設定に戻します。

音質・音声設定

音声モード

スタンダード: オリジナルの音源を活かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質になります。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなどの番組に向いています。

ダイナミック: 重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質になります。

カスタム: お好みにあわせて細かく調整します。

低音

左に動かすと低音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。

高音

左に動かすと高音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。

イコライザー

150Hz／250Hz／500Hz／1kHz／2kHz／4kHz／8kHz／12kHz: [音声モード]で[カスタム]を選んだときのみ、周波数を選び、細かく調整できます。低音を調整するときは低い周波数、高音を調整するときは高い周波数を選んで調整してください。

調整の初期化: [イコライザー]をお買い上げ時の設定に戻します。

バランス

左に動かすと左側の音が大きくなり、右に動かすと右側の音が大きくなります。

サラウンド

入／切: [入]を選ぶと、臨場感のあるサラウンド効果を楽しめます。テレビ正面中央で視聴すると効果的です。モノラル音声には効果がありません。音がひずむときは[切]を選んでください。

外部出力モード

ヘッドホン出力／ラインアウト出力: ◇(ヘッドホン)端子にヘッドホンをつないだときは[ヘッドホン出力]、オーディオ機器をつないだときは[ラインアウト出力]を選びます。

ご注意

- [外部出力モード]で[ラインアウト出力]を選んでも、[ヘッドホン使用時設定]で[ヘッドホンのみ使用]を選んでいるとテレビのスピーカーから音声が出来ません。ヘッドホンとテレビのスピーカーを同時に使用する場合は[ヘッドホン使用時設定]で[スピーカーと併用]を選んでください。

ヘッドホン音量

左に動かすと音が小さくなり、右に動かすと大きくなります。

自動音量調整

入／切: [入]を選ぶと、音の大きさを自動で調節して、音量の変化を抑えます。

音量レベル

テレビ放送から外部入力に切り換えたときなど音量が変化する場合に、音量を補正します。音量を調節したいテレビ放送または外部入力の視聴中に音量レベルを設定してください。

クリアボイス

声やセリフがはっきり聞こえるように調整できます。

デジタル音声出力

HDMI1入力端子にARC (Audio Return Channel) に対応したオーディオ機器をつないだときには有効になります。

自動: 接続機器にあわせて、デジタル圧縮音声をそのまま出力、またはPCM音声のデジタル信号に変換して出力します。

PCM: PCM音声のデジタル信号に変換して出力します。

ビットストリーム: デジタル圧縮音声をそのまま出力します。

ヘッドホン使用時設定

スピーカーと併用: ヘッドホンとテレビのスピーカーの両方から音声を出力します。

ヘッドホンのみ使用: ヘッドホンから音声を出力します。テレビのスピーカーからは出力しません。

調整の初期化

[音質・音声設定]の[低音]および[高音]、[イコライザー]、[バランス]、[サラウンド]をお買い上げ時の設定に戻します。

通信設定

ネットワーク接続

IPアドレス自動取得(DHCP／手動設定): ルーターやプロバイダーのDHCP機能がオンの場合は[DHCP]を、オフの場合は[手動設定]を選びます。

IPアドレス／サブネットマスク／ゲートウェイ: [IPアドレス自動取得]で[手動設定]を選んだとき、ルーターの使用状況やプロバイダーの指定にあわせてアドレスを入力します。

DNSアドレス自動取得(DHCP／手動設定): ルーターやプロバイダーのDHCP機能がオンの場合は[DHCP]を、オフの場合は[手動設定]を選びます。

DNS IPアドレス: [DNSアドレス自動取得]で[手動設定]を選んだときに、ルーターの使用状況やプロバイダーの指定にあわせてアドレスを入力します。

プロキシ設定(アドレス／ポート番号): プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときに入力します。

ネットワーク状態

再接続確認: ネットワークに正常に接続できるかテストします。

ネットワーク情報: 接続方法やMACアドレス、IPアドレスなどの情報を表示します。

タイマー設定

日時指定予約

予約方式(視聴予約／録画予約): 放送開始時に自動でチャンネルが切り換わる視聴予約をするか、USBハードディスク機器への録画予約をするかを選びます。

放送種別／チャンネル: 放送の種類(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)とチャンネルを選びます。

曜日／日: 曜日と日にちを設定します。[毎日]や[毎週]も設定できます。

開始時刻: 予約開始時刻を設定します。

終了時刻: 予約終了時刻を設定します。

その他の設定(録画番組のプロテクト): [する]を選ぶと、録画した番組を誤って消去しないようにプロテクト(保護)します。

予約せず戻る: 日時指定予約をしないで、前の画面に戻ります。

予約する: 日時指定予約の設定を確定します。

オンタイマー

オンタイマー(切／入): [入]を選ぶと、設定した時刻に自動で電源が入ります。

時刻: 電源を入れる時刻を設定します。

音量: 電源が入ったときの音量を調節します。

放送／入力(設定しない／地上D／BS／CS／HDMI1／HDMI2): 放送の種類(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)または外部入力を選びます。電源スタンバイにする前の放送または外部入力の映像を表示したいときは、[設定しない]を選びます。

チャンネル: チャンネルを選びます。電源スタンバイにする前の放送または外部入力の映像を表示したいときは、[設定しない]を選びます。

チャンネル名: [チャンネル]で選んだ放送局名が表示されます。

無操作電源オフ

入／切: [入]を選ぶと、テレビの操作をしない状態が約4時間以上続いたときに自動で電源スタンバイになります。

無信号電源オフ

入／切: [入]を選ぶと、信号がない状態が約10分以上続いたときに自動で電源スタンバイになります。

機器設定

USB機器管理

USBハードディスク機器の一覧を表示します。

録画設定

自動予約(入／切): [入]を選ぶと、番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから同じシリーズの番組を自動的に予約し、毎回録画します。

[切]を選ぶと、[毎回録画]の設定が一時的に解除されます。

録画ボタン設定(番組終了／3時間録画): 録画ボタンを押して録画したときに、停止するタイミングを設定します。

オートチャプター(入／切): [入]を選ぶと、番組を録画中に自動でチャプターマークを付けます。

USB HDD省電力(入／切): [入]を選ぶと、USBハードディスク機器が動作していないときに電源スタンバイになります。

視聴制限設定

デジタル放送で推奨する視聴年齢がある番組を、暗証番号を入力しなければ視聴／予約できないように設定します。

暗証番号設定: 視聴制限設定の暗証番号を変更します。

視聴年齢制限設定(4才～／無制限): 設定した年齢を超える番組は、番組表などで「....」と表示されます。

暗証番号削除(はい／いいえ): 視聴制限設定の暗証番号を削除します。

表示の設定

字幕の設定:

- 字幕(入／切):字幕を表示するかどうかを選びます。
- 字幕言語(日本語／英語):字幕ボタンを押したときに表示される言語を選びます。
- 文字スーパー(入／切):臨時ニュースなどの文字スーパーを表示するかどうかを選びます。
- 文字スーパー言語(日本語／英語):文字スーパーの言語を選びます。

入力表示(HDMI1／HDMI2):外部入力への切り換え時にメニューに表示される機器名を選びます。

- [使用しない]を選ぶと、入力切換ボタンを押したときにメニューに表示されなくなります。

タイトル表示(入／切):[入]を選ぶと、チャンネルを切り換えたときに番組のタイトルを表示します。

時計表示(入／切):[入]を選ぶと、時計を表示します。

HDMI連動設定

HDMI連動(入／切):[入]を選ぶと、HDMI機器制御が有効になり、[電源入連動]、[電源切連動]、[自動切]、[レコーダ操作]を設定できます。

電源入連動(入／切):[入]を選ぶと、HDMI機器で電源を入れたり、再生などの操作をしたりするときに、テレビの電源も連動して入ります。入力切換で[HDMI1]または[HDMI2]が選ばれた状態でテレビの電源を入れると、HDMI機器の電源も連動して入ります。

電源切連動(入／切):[入]を選ぶと、テレビを電源スタンバイにするときにHDMI機器の電源も連動して切れます。

自動切(入／切):[入]を選ぶと、入力を切り換えて、使用していないHDMI機器の電源を切ることができます。

レコーダ操作(通常／拡大):[拡大]を選ぶと、HDMI機器制御に対応したレコーダーをテレビのリモコンのチャンネルボタン、1～12の数字ボタン、番組表ボタン、d(連動データ)ボタン、音声切換ボタンで操作できます。

かんたん設定

画面の指示に従って、テレビの設定ができます。

画質(ご家庭用／店頭用):お好みの画質設定を選びます。

郵便番号:郵便番号を設定すると、天気予報などお住まいの地域に密着したデータ放送や緊急警報放送を視聴できます。

県域設定:お住まいの地域にあった放送チャンネルの情報を取得するために設定します。

B-CASカードテスト:B-CASカードが正しく挿入されているかをテストします。

地上デジタルチャンネル設定:[県域設定]をもとに地上デジタルのチャンネルが自動設定されます。

衛星アンテナ設定:BSデジタルや110度CSデジタルを受信する衛星アンテナの設定をします。

設置設定

受信対象設定(BS/CS):BSデジタルや110度CSデジタルを受信するかどうかを設定します。

チャンネル設定(地上デジタル):

初期スキャン:設定してあるチャンネルを消去し、受信可能なチャンネルを自動で設定し直します。

再スキャン:設定してあるチャンネルは変えずに、自動で受信可能チャンネルを追加したり、変更になったチャンネルを更新したりします。

マニュアル:リモコンの数字ボタンのチャンネル割り当てを変更します。

チャンネル設定(BS/CS):リモコンの数字ボタンのチャンネル割り当てを変更します。

地域設定:

県域設定:お住まいの地域にあった放送チャンネルの情報を取得するために設定します。

郵便番号:郵便番号を設定すると、天気予報などお住まいの地域に密着したデータ放送や緊急警報放送を視聴できます。

受信設定(地上):

地上アッテネータ(入／切):電波の送信元付近の地域などで、電波が強く近隣チャンネルなどの干渉を受けるときに[入]を選び、画面のノイズを軽減します。

伝送チャンネル:お住まいの地域の地上デジタルに使用される伝送チャンネルを切り換えることができます。

受信状況:受信中の放送局名を表示します。

受信レベル:受信中のチャンネルのアンテナレベルを表示します。

受信設定(衛星):

アンテナ電源(入／切): テレビから衛星アンテナに電源を供給するときは[入]を選びます。テレビが電源スタンバイのときは供給しません。マンションなどの共同受信システムのときは[切]を選びます。

トランスポンダ: 受信中のトランスポンダ(送信機)を表示します。

衛星周波数: 放送局などから案内があったときなどに変更します。変更すると受信できなくなることがありますので、通常はそのままお使いください。

受信状況: 受信中の放送局名を表示します。

受信レベル: 受信中のチャンネルのアンテナレベルを表示します。

高速起動(入／切): [入]を選ぶと、電源スタンバイにしてから24時間以内に電源を入れると、テレビを早く起動できます。電源スタンバイ時の消費電力が増えますのでご注意ください。

B-CASカードテスト: B-CASカードが正しく挿入されているかをテストします。

システム設定

設定情報リセット(はい／いいえ): すべての設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。テレビを廃棄したり、譲渡したりするときに個人情報を削除できます。

ご注意

- ・[設定情報リセット]を行なった場合、設定値を元に戻すことはできません。
- ・データ放送で登録した個人情報やポイント数などはすべて削除されます。
- ・USBハードディスク機器の登録情報は削除され、録画番組は再生できなくなります。
- ・視聴制限設定の暗証番号は削除されません。[暗証番号削除]で削除してください(31ページ)。
- ・双方向サービスをご利用の場合、テレビから放送局に登録された情報は[設定情報リセット]を行なっても削除されません。それぞれのサービスで情報の削除依頼(退会手続きなど)を行なってください。

デジタル放送からのメール: 放送局からお客様へのお知らせ(メール)を表示します。

B-CASカード情報表示: B-CASカードの識別情報やカードID、グループIDを表示します。

CSボード: 110度CSデジタルの利用者全員へ共通のお知らせや番組案内などを表示します。

ライセンス情報: テレビで使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

ルート証明書: 放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すデジタル証明書を表示します。

その他の設定**文字入力設定:**

入力方法(リモコンボタン／画面キーボード): リモコンボタンを押して文字を入力するか、画面に表示されたキーボードで文字を選んで入力するかを選びます。

変換方式(通常方式／予測方式): [予測方式]を選ぶと、文字を入力したときに変換候補が表示されます。

選局対象:

設定チャンネル: [チャンネル設定]で設定したチャンネルのみ表示します。

テレビのみ: テレビのチャンネルのみ表示します。データ放送やラジオ放送のチャンネルは表示しません。

全チャンネル: テレビおよびデータ放送、ラジオ放送のすべてのチャンネルを表示します。

受信機情報表示**ID表示**

テレビの型名とソフトウェアのバージョンを表示します。

オプションで操作する

オプションボタンを押すと、そのときに利用できる機能の一覧が表示され、使いたい機能をすばやく探せます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。項目については、記載されているページをご覧ください。

- ・テレビ放送画面のオプション(34 ページ)
- ・外部入力画面のオプション(34 ページ)
- ・番組表のオプション(35 ページ)
- ・予約リスト画面のオプション(35 ページ)
- ・録画リスト画面のオプション(35 ページ)
- ・USBハードディスク機器の番組再生画面のオプション(35 ページ)

テレビ放送画面のオプション

HDMI機器設定

機器選択:他のHDMI機器に切り替えます。

スピーカー選択(TV／外部):テレビとHDMI機器のどちらのスピーカーから音声を出力するかを選びます。

スリープタイマー

90分／60分／30分／切:自動で電源スタンバイにするまでの時間を選びます。

予約リスト

予約リスト画面を表示して、予約の確認や変更ができます。

チャンネル設定

地上デジタル／BS／CS:リモコンの数字ボタンのチャンネル割り当てを変更します。

視聴制限一時解除

視聴制限のある番組を見るときなどに、暗証番号を入力して視聴制限を一時的に解除します。

アンテナレベル

受信中のチャンネルのアンテナレベルを表示します。

枝番選局

地上デジタルで1つのチャンネル番号に複数の放送があるときに、見たい放送を選局します。

信号切換

マルチビュー:同じ番組で最大3種類の映像があるマルチビュー放送のときに切り替えます。

映像:違うアングルなど、複数の映像がある番組のときに切り替えます。

音声:「音声1」、「音声2」など複数の音声信号がある番組のときに切り替えます。

二重音声:主音声と副音声がある番組のときに切り替えます。

データ:複数のデータがある番組のときに切り替えます。

字幕(入／切):字幕を表示するかどうかを選びます。

字幕言語(日本語／英語):字幕ボタンを押したときに表示される言語を選びます。

データ放送表示切

運動データ放送を終了します。

外部入力画面のオプション

機器操作

接続機器によって、選んだ項目と違う動作が行なわれたり、テレビから操作できなかつたりすることがあります。その場合は、接続機器のリモコンを使用してください。

番組選択:HDMI機器に録画されている番組を選びます。

ドライブ切換:HDMI機器のハードディスクとディスクドライブを切り替えます。

画面表示:HDMI機器で再生中の番組情報などを表示します。

電源:HDMI機器の電源を入／切します。

予約リスト:HDMI機器の予約リスト画面を表示して、予約の確認や変更ができます。

リンクメニュー:リンクメニューを表示して、HDMI機器を操作します。

番組表:HDMI機器の番組表を表示します。

セットアップメニュー:HDMI機器のメニューを表示します。

AV system:

セットアップメニュー:設定画面を表示します。

Input switching:外部入力またはテレビ放送画面に切り替えます。

画面表示:HDMI機器で再生中の番組情報などを表示します。

HDMI機器設定

機器選択:他のHDMI機器に切り替えます。

スピーカー選択(TV／外部):テレビとHDMI機器のどちらのスピーカーから音声を出力するかを選択します。

スリープタイマー

90分／60分／30分／切:自動で電源スタンバイにするまでの時間を選びます。

予約リスト

予約リスト画面を表示して、予約の確認や変更ができます。

番組表のオプション

番組の検索

ジャンルを指定して、番組を検索します。

視聴制限一時解除

視聴制限のある番組を見るときなどに、暗証番号を入力して視聴制限を一時的に解除します。

番組データ取得

番組表に表示する情報を放送局から取得します。

表示内容

設定チャンネル:[チャンネル設定]で設定したチャンネルのみ番組表に表示します。

テレビのみ:テレビのチャンネルのみ番組表に表示します。
データ放送やラジオ放送のチャンネルは表示しません。

全チャンネル:テレビおよびデータ放送、ラジオ放送のすべてのチャンネルを番組表に表示します。

予約リスト画面のオプション

全履歴削除

実行済みの予約履歴をすべて削除します。

録画リスト画面のオプション

USB HDD選択

再生に使用するUSBハードディスク機器を選びます。

視聴制限一時解除

視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力して視聴制限を一時的に解除します。

プロテクト設定変更

録画した番組を誤って消去しないようにプロテクト(保護)したり、プロテクトを解除したりします。

番組名編集

USBハードディスク機器の録画番組の番組名を変更します。

USBハードディスク機器の番組再生画面のオプション

字幕言語

日本語／英語:字幕ボタンを押したときに表示される言語を選びます。

音声切換

「音声1」、「音声2」など複数の音声信号がある番組のときに切り替えます。

二重音声

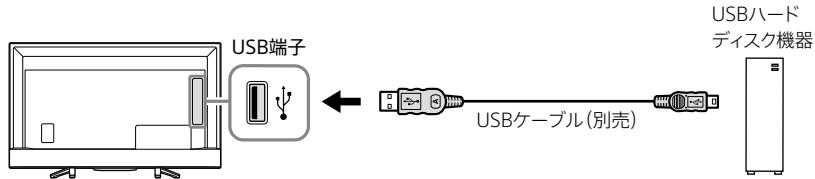
主音声と副音声がある番組のときに切り替えます。

視聴制限一時解除

視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力して視聴制限を一時的に解除します。

USBハードディスクをつなぐ

USBケーブル(別売)を、テレビのUSB端子とUSBハードディスク機器のUSB端子につなぎます。



ご注意

- USBハードディスク機器には専用のACアダプターの接続が必要なことがあります。接続が必要かどうかは、USBハードディスク機器の取扱説明書などで確認してください。

USBハードディスクを登録する

USBハードディスク機器に録画するには、録画用として登録が必要です。登録すると、USBハードディスク機器は初期化され、内容はすべて消去されます。

録画用に登録していないUSBハードディスク機器をつなぐと、登録のメッセージが表示されます。画面の指示に従って登録してください。

接続しているUSBハードディスク機器を録画用に登録するときは、以下の手順を行ないます。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定] - [機器設定] - [USB機器管理]を↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

3 未登録のUSBハードディスク機器を選び、決定ボタンを押す。

USB機器一覧					
機器	接続	モデル名	表示名	モード	録画可能時間
1	接続	Mass Storage Device		未登録	
2	接続	Hard Drive		未登録	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

USBハードディスク機器の登録状況は[モード]で確認できます。

- [登録[録画用]]
録画用に登録されています。この表示のあるUSBハードディスク機器に録画できます。
- [登録]
再生用に登録されています。録画はできません。
- [未登録]
登録されていないUSBハードディスク機器です。録画用に登録すると、それまで録画用に登録されていたUSBハードディスク機器は再生用になり、録画できなくなります。

4 画面の指示に従って、録画用に登録する。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

(ヒント)

- USBハードディスク機器は最大8台まで登録できます。

機器情報を確認するには

1 USB機器一覧画面を表示する
(36 ページ)。

2 情報を確認したいUSBハードディスク機器を選び、赤ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

表示名を変更するには

1 USB機器一覧画面を表示する
(36 ページ)。

2 表示名を変更したいUSBハードディスク機器を選び、緑ボタンを押す。

3 画面の指示に従って、表示名を変更する。

文字入力については、65 ページをご覧ください。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

ご注意

- 表示名を空白にすることはできません。

USBハードディスク機器を再登録するには

再登録すると、USBハードディスク機器は初期化され、内容はすべて消去されます。

1 USB機器一覧画面を表示する
(36 ページ)。

2 再登録したいUSBハードディスク機器を選び、決定ボタンを押す。

3 画面の指示に従って、再登録する。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

(ヒント)

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスク機器を再登録すると、使用できるようになります。

USBハードディスクの登録を解除する

USBハードディスク機器の登録が8台を越えるときは、使用しなくなった機器の登録を解除します。登録を解除すると、[未登録]モードになり、録画・再生ができなくなります。

1 USB機器一覧画面を表示する
(36 ページ)。

2 登録を解除したいUSBハードディスク機器を選び、消去ボタンを押す。

3 画面の指示に従って、登録を解除する。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

ご注意

- テレビで録画用に登録したUSBハードディスク機器をパソコンで使うには、パソコンで初期化してください。ただし、USBハードディスク機器に録画した番組はすべて消去されます。

USBハードディスクを取り外す

USBハードディスク機器の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりする前に、接続状態を解除します。

1 USB機器一覧画面を表示する
(36 ページ)。

2 取り外したいUSBハードディスク機器
を選び、青ボタンを押す。

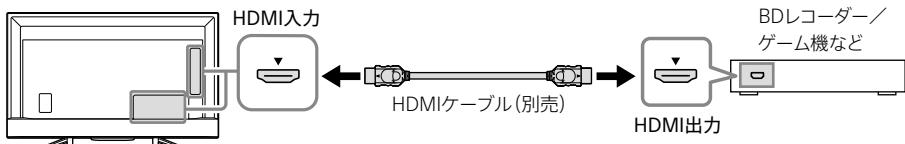
戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

ご注意

- USBハードディスク機器の動作中は、USBハードディスク機器の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスク機器が故障したりすることがあります。

BDレコーダーやゲーム機などをつなぐ

High Speed HDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI入力端子とつなぐ機器のHDMI出力端子につなぎます。BDレコーダーやゲーム機以外の機器でも、テレビに映像を表示する機器をつなぐ方法は同じです。



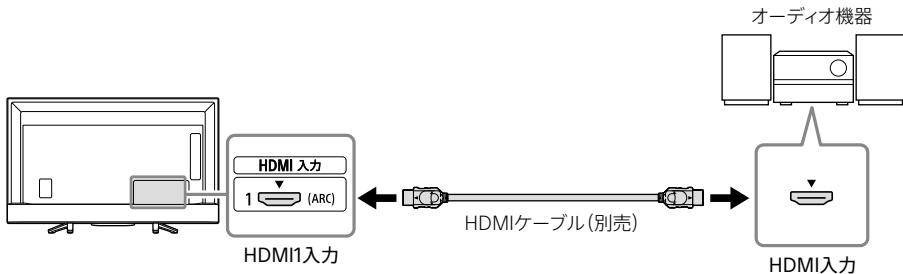
ご注意

- 市販のHDMIケーブルの中には、取り付けられないものがあります。

オーディオ機器をつなぐ

ARC(Audio Return Channel)対応のオーディオ機器をつなぐ場合

HDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI1入力端子とオーディオ機器のHDMI入力端子につなぎます。

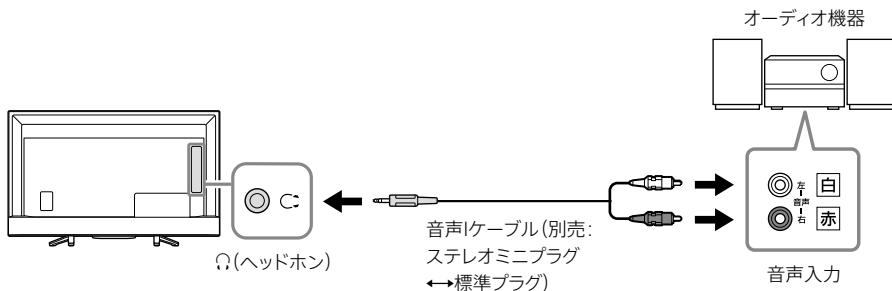


ご注意

- テレビ側は「ARC」と記載されているHDMI1入力端子につないでください。
- 市販のHDMIケーブルの中には、取り付けられないものがあります。
- 音声の出力方法は「デジタル音声出力」で設定できます(30 ページ)。

ARCに対応していないオーディオ機器をつなぐ場合

ステレオミニプラグ \leftrightarrow 標準プラグの音声ケーブル(別売)などを、テレビの \ominus (ヘッドホン)端子とオーディオ機器の音声入力端子につなぎます。



外部出力モードを設定する

音声ケーブル(別売)でつないだときのみ設定します。

1 ホームボタンを押す。

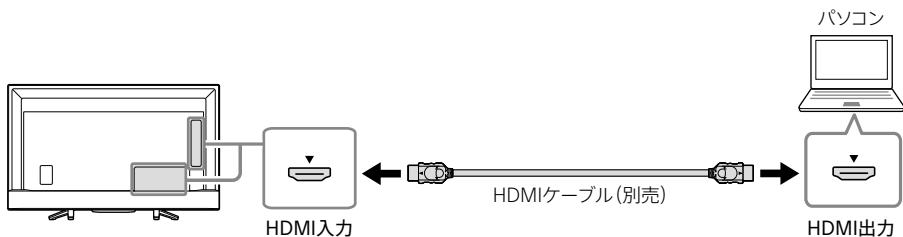
2 [設定] - [音質・音声設定]を \uparrow/\downarrow ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

3 [外部出力モード]で[ラインアウト出力]を選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

パソコンをつなぐ

HDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI入力端子とパソコンのHDMI出力端子につなぎます。



ご注意

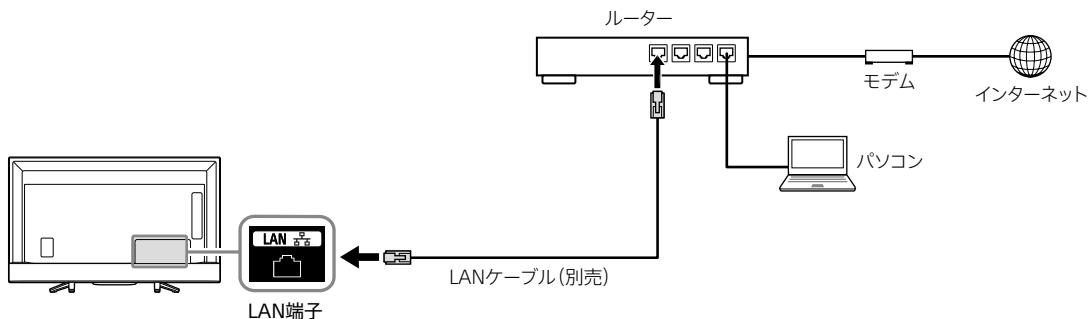
- 市販のHDMIケーブルの中には、取り付けられないものがあります。

(ヒント)

- 対応信号については、64 ページをご覧ください。
- パソコンの画像を見るための操作については、27 ページをご覧ください。

インターネットにつなぐ

テレビをインターネットに接続すると、連動データ放送の双方向サービスが行なわれている番組に参加して楽しめます。テレビをインターネットに接続するためには、あらかじめインターネットを使用できる環境が必要です。インターネット接続環境について詳しくは、ご利用の回線事業者やプロバイダーにお問い合わせください。



(ヒント)

- ・カテゴリー5(CAT5)以上のLANケーブルをお使いください。
- ・ルーター機能付きのモデムをお使いの場合は、ルーターを別途準備する必要はありません。モデムの仕様については、お使いの回線事業者にお問い合わせください。
- ・ルーターのLAN端子が空いていない場合は、LAN用ハブを準備してください。
- ・ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧いただくか、ネットワークを設定した人(ネットワーク管理者)にお問い合わせください。

インターネットの設定をする

お買い上げ時の設定でインターネットが利用できないときや、ネットワークの設定をやり直すときなどに、必要に応じて設定します。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定] – [通信設定] – [ネットワーク接続]を↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

IPアドレスを設定するには

1 ルーターやプロバイダーのDHCP機能がオンの場合は[IPアドレス自動取得]で[DHCP]を、オフの場合は[手動設定]を選ぶ。

2 [IPアドレス自動取得]で[手動設定]を選んだ場合は[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]を1~10の数字ボタンで入力する。

0~255の範囲の数字を4箇所の欄に入力します。欄を移動するときは◀/▶ボタン、行を移動するときは▲/▼ボタンを押します。IPアドレスは他の機器と重複しないプライベートアドレスを設定します。

(ヒント)

- IPアドレスは、インターネットに接続する機器に割り当てられる固有の番号です。
- サブネットマスクは、ネットワークを区切るために、接続機器に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するしくみです(例:255.255.0.0)。
- ゲートウェイは、ネットワーク外のサーバーにアクセスするときに、使用するルーターなどの機器を指定するためのアドレスを入力します(例:169.254.0.1)。

DNSを設定するには

ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、IPアドレスで特定されます。

1 ルーターやプロバイダーのDHCP機能がオンの場合は[DNSアドレス自動取得]で[DHCP]を、オフの場合は[手動設定]を選ぶ。

[IPアドレス自動取得]で[手動設定]を選んだ場合は、[DNSアドレス自動取得]は自動的に[手動設定]になります。

2 [DNSアドレス自動取得]で[手動設定]を選んだ場合は[DNS IPアドレス]を1~10の数字ボタンで入力する。

プロバイダーから指定されたDNSアドレス(0~255の数字)を入力します。欄を移動するときは◀/▶ボタンを押します。

(ヒント)

- プロバイダーによっては「ネームサーバー」、「ドメインサーバー」と

呼ばれることがあります。

プロキシサーバーを設定するには

プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときに設定します。

1 [プロキシ設定] - [アドレス]を▲/▼ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

2 プロキシサーバーのアドレスを入力する。

入力できる文字は半角英字／半角数字です。記号は半角の!#%&(*+,.-:;=>@[¥]^{}~?/_が入力できます。文字入力については、65ページをご覧ください。

3 [ポート番号]を選び、1~10の数字ボタンで入力する。

接続テストをするには

1 ホームボタンを押す。

2 [設定] - [通信設定] - [ネットワーク状態]を▲/▼ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

3 [再接続確認]を選び、決定ボタンを押す。

接続テストが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

接続できなかった場合は、ケーブルの接続や設定を確認して、もう一度テストしてください。

ネットワーク情報を見るには

- 1** ホームボタンを押す。

 - 2** [設定] – [通信設定] – [ネットワーク状態]を↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

 - 3** [ネットワーク情報]を選び、決定ボタンを押す。
-

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

故障かな？と思ったら

テレビをご使用中にトラブルが発生したり、調べたいことがある場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示される場合は、書き留めておくことをおすすめします。

1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べます。解決しないときは、テレビの電源コードを抜き、約2分後に再度つないでみてください。

2 サポートページで調べる (51 ページ)

〈ブラビア〉サポートページ
<https://www.sony.jp/support/tv/>
 最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を調べます。

3 それでも解決しないときは (53 ページ)

使い方相談窓口、修理相談窓口へご相談ください。

アンテナケーブル接続時のご注意

アンテナケーブルを接続するときは、しっかり接続でき抜けにくいF型接線やロックタイプなどのアンテナケーブルをおすすめします。



テレビ背面の地上入力端子に、下から上に向かってアンテナケーブルを挿し込み、緩まないようにネジで固定して接続してください。

うまく受信できないときは

リモコンのホームボタンを押し、[設定] - [機器設定] - [設置設定] - [受信設定]を▲/▼と決定ボタンで順に選び、[地上]もしくは[衛星]でアンテナの受信レベルを確認してください。

現在のアンテナレベルが25未満のときは、アンテナケーブルの芯線が曲がったり折れたりしていないか、またアンテナケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。

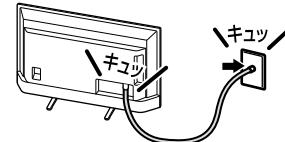


上記以外にアンテナや分配器、分波器、ブースターなどにより受信できないことがあります。詳しくは、お買い上げの店かマンション管理会社にお問い合わせください。

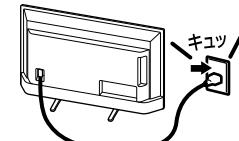
まずは確認してください

アンテナケーブルや電源コードなどがゆるんでいないか、お確かめください。

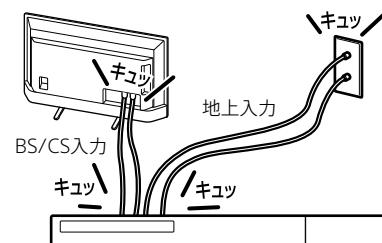
アンテナケーブルはゆるんでいませんか？



電源コードはゆるんでいませんか？



機器間のケーブルはゆるんでいませんか？



こんな場合は故障ではありません

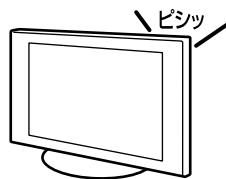
画面に光る点、または光らない点がある。

液晶テレビの映像は、微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。



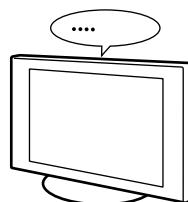
「ピシッ」というきしみ音が出る。

電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがあります。



電源が入らなくなった／画面や音が出なくなった／リモコンや機能が使えなくなった。

何らかの原因により、テレビが一時的に誤動作を起こしている可能性があります。テレビの電源コードを抜き、約2分後に再度つないでから、本体の電源ボタンで電源を入れてください。



問題と対処

詳しくは、記載されているページをご覧ください。

- 映像 (46 ページ)
- 地上デジタル (47 ページ)
- BS/110度CSデジタル (47 ページ)
- 接続機器 (47 ページ)
- 音声 (47 ページ)
- 録画・予約 (48 ページ)
- 再生 (48 ページ)
- インターネット (48 ページ)
- リモコン (49 ページ)

- 番組表 (49 ページ)
- 有料放送 (49 ページ)
- 画面表示 (49 ページ)
- エラーメッセージ全般 (49 ページ)
- USBハードディスク機器に関するエラーメッセージ (50 ページ)
- インターネットに関するエラーメッセージ (51 ページ)

映像

テレビの電源が突然切れた／いつのまにか消えていた。

- [無操作電源オフ]を設定していると、テレビの操作をしない状態が約4時間以上続いたときに自動で電源スタンバイになります。
- [オンタイマー]を利用して電源を入れた場合、1時間経過すると電源スタンバイになります。

テレビの電源が勝手に入ってしまう。

- [HDMI連動]を[切]に設定してください (32 ページ)。

色がつかない／色がおかしい／画面が暗い。

- [画質・映像設定]を選び、お好みの画質に調整してください (28 ページ)。

画像が乱れる。

- テレビの近くで携帯電話や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。
- 画像の輪郭が乱れる場合は、[シネマドライブ]を[切]に設定してください (29 ページ)。
- USBハードディスク機器の特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。

画面サイズが勝手に切り換わる／映像が上下に動く。

- [ワイド切り替え]が[オートワイド]に設定されていると、映像に適した画面サイズに自動的に切り換わります。気になるときは、[ワイド切り替え]を[オートワイド]以外に設定してください (29 ページ)。

チャンネルが映らない。

- もう一度かんたん設定を行なってください (32 ページ)。

地上デジタル

地上デジタルが受信できない／地上デジタルの画像が乱れる。

- ・地上デジタルに対応したアンテナにつないでください。
- ・受信レベル(32 ページ)を確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。
- ・ブースターのレベルを下げるみてください。信号を増幅しすぎると受信できないことがあります。
- ・アンテナを直接つないでいるか、ケーブルテレビ(CATV)を受信しているかを確認してください。
- ・有料放送を見るには視聴契約をしてください。
- ・お住まいの地域によって放送が異なります。必ず、チャンネルスキャンの前に[県域設定]を設定してください(32 ページ)。
- ・[初期スキャン]または[再スキャン]をしてください(32 ページ)。
- ・電波が強すぎたり、弱すぎたりすることがあります。[地上アッテネータ]を[入]または[切]に切り換えてください(32 ページ)。

BS/110度CSデジタル

BSデジタル／110度CSデジタルが受信できない。

- ・電源コードを抜き、衛星用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。
- ・BS/110度CSデジタルに対応したアンテナおよび同軸ケーブルにつないでください。
- ・アンテナや分配器、分波器、ブースターなどがBS/110度CSデジタルに対応していないと受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。
- ・衛星アンテナの前方に障害物がないか確認してください。
- ・[受信対象設定]の[BS]または[CS]を[使う]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[使わない]に設定してください(32 ページ)。
- ・[アンテナ電源]を[入]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください(33 ページ)。
- ・受信レベル(33 ページ)を確認しながら衛星アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。
- ・有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約(加入申し込み)をしてください。

BSデジタル／110度CSデジタルの画像が乱れる。

- ・雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。お住まいの地域が晴れても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。天候の回復をお待ちください。
- ・降雨対応放送の場合は、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で受信します。

接続機器

つないだ機器の画像が出ない。

- ・つないだ機器の電源が入っているか確認してください。
- ・接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。
- ・リモコンの入力切換ボタンを押して、入力を切り換えてください。

入力切換で、つないだ機器が選べない／入力を切り換えられない。

- ・接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。

録画・再生中ではないのに、USBハードディスク機器の動作音がする。

- ・番組表の情報を取得するときに、USBハードディスク機器が回転します。

音声

画像は出るが、音が出ない。

- ・音量が下がりきっていないか確認してください。
- ・画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンまたは音量+/-ボタンを押して表示を消してください。
- ・ヘッドホンを抜いてください。

聞きたい音声になっていない。

- ・二か国語放送などで、副音声や第2音声になっている場合は、音声切換ボタンを押して、音声を切り換えてください。

音声が出ない／音声がおかしい。

- ・[サラウンド]を[切]に設定してください(30 ページ)。番組によっては、サラウンド音声にしていると音が聞こえにくかったり、聞こえなかったりすることがあります。
- ・録画番組の再生で、一時停止になっていることがあります。再生ボタンを押してください。

- ・録画番組の再生で、早送りまたは早戻しになっていることがあります。再生ボタンを押してください。

録画・予約

録画予約した番組が録画されない。

- ・本体の電源ボタンで電源を切ると、録画されません。録画予約後は、リモコンの電源ボタンで電源スタンバイにしてください。
- ・番組の変更にあわせて録画するには、[毎回録画]を設定してください。ただし、次回の放送時間が90分以上前後すると、予約されないことがあります。

見ている番組が録画されない。

- ・録画ボタンを押して開始した録画より、録画予約が優先されます。録画ボタンでの録画を優先する場合は、録画予約を取り消してください(21ページ)。

録画中に停止ボタンを押してもすぐに録画が止まらない。

- ・録画が止まる前にUSBハードディスク機器にデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によっては、録画が停止するまでに通常よりも時間がかかることがあります。

画像は出ているが、録画されない。

- ・電波が強すぎたり、弱すぎたりする場合は録画されないことがあります。[地上アッテネータ]を[入]または[切]に切り換えてください(32ページ)。

予約したのに録画されていない。

- ・予約リスト画面を表示して、実行結果を確認してください(20ページ)。
- ・録画中に停電があると、録画されません。
- ・コピー制御信号が含まれている映像は録画できません。
- ・予約が重なっていると、先に開始した録画が終わるまで、次の予約は開始しません。
- ・録画リストボタンを押して、USBハードディスク機器の録画可能時間が足りているか確認してください。
- ・録画した番組の数が上限(3,000)に達していると録画できません。
- ・有料番組か確認してください。
- ・B-CASカードが正しい向きで挿入されているか確認してから、B-CASカードのテストをしてください(33ページ)。
- ・USBハードディスク機器に録画するには、録画用として登録が必要です(36ページ)。
- ・[毎回録画]で予約している場合、[自動予約]を[入]に設定してください(31ページ)。

予約した内容が途中で切れている。

- ・予約リスト画面を表示して、実行結果を確認してください(20ページ)。
- ・前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じときは、前の予約は終了予定時刻より早く録画停止され、最後の1分間は録画されません。
- ・番組の中断がなかったか確認してください。
- ・コピー制御信号が含まれている映像が途中から始まると、録画されません。
- ・録画リストボタンを押して、USBハードディスク機器の録画可能時間が足りているか確認してください。
- ・録画中に停電があると、録画されません。
- ・受信状態が悪かった場合は、途切れます。
- ・ソフトウェアの書き換え中は、録画されません。

以前録画した内容がなくなっている。

- ・録画・再生中に電源コードを抜いたり、USBケーブルを抜いたりすると、録画された番組が消滅することがあります。

ご注意

- ・USBハードディスク機器の注意事項については、61ページもご覧ください。

再生

最初から始まらない。

- ・再生を始めるときに、[最初から再生]を選んでください。

録画中に追いかけ再生できない。

- ・アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けたりしていると、追いかけ再生できないことがあります。
- ・録画中の番組の途中からスクランブル解除できない信号が入った場合、追いかけ再生できません。

インターネット

インターネットにつながらない。

- ・LANケーブルやネットワーク機器の電源コードが外れていないか確認してください。
- ・[IPアドレス自動取得]を[DHCP]に設定している場合、DHCPサーバーが存在しないと機器の認識に時間がかかることがあります。[再接続確認]をしてください(43ページ)。[再接続確認]の結果で「DNSサーバーが応答しません」と表示されるときは、接続と設定を確認してください(42ページ)。
- ・ルーターが正しく設定されているか確認してください。

ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

- テレビと同じネットワーク上にあるパソコンからインターネットに接続できるか確認してください。
 - ① パソコンでブラウザー (Internet Explorerなど) を起動する。
 - ② アドレス欄に「www.sony.co.jp/」と入力する。
 - ③ ページが表示されないときは、パソコンとルーターの設定を確認する。
- パソコンからインターネットに正常に接続できるようになったら、テレビで[再接続確認]をしてください (43 ページ)。
- PPPoEはテレビに設定できません。ルーターに設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

リモコン

リモコンでテレビを操作できない。

- 電池を交換してください。
- 電池の+/-を正しい向きに入れてください。
- LEDが白色に点灯していないときは、本体の電源ボタンを押してください。
- リモコン先端部を手などで覆わないようにして操作してください。
- テレビ前面のLEDの付近にリモコン受光部があります。リモコン受光部の前には物を置かないようにしてください。

リモコンの1~12の数字ボタンを押してもチャンネルが選べない。

- 数字ボタンを押す前に、見たい放送のボタン (地デジ、BS、CS) を押してください。
- 番組表でチャンネルを確認してください。
- [チャンネル設定]でリモコンの数字ボタンにチャンネルを割り当ててください (32 ページ)。
- チャンネル番号を直接入力するときは、10キーボタンを押したあとに数字ボタンを押してください。

番組表

番組表に表示される番組が少ない。

- お買い上げ時は番組表に表示される番組が少ないとがあります。しばらく視聴すると表示されます。
- 番組表の表示中に、空欄になっている放送局を選び、決定ボタンを押してください。放送局から番組情報を取得します。

番組表に表示されるチャンネルが少ない。

- 番組表の表示中にオプションボタンを押し、[表示内容]で[全チャンネル]を選んでください。

有料放送

有料放送が視聴できない。

- 視聴契約をしてください。

画面表示

表示されない設定項目がある。

- 受信している放送や設定・調整状況によっては、表示されない項目や設定できない項目があります。

地上デジタルの放送局のマークが表示されない。

- 地上デジタルの各放送局をしばらく視聴すると、放送局のマークが表示されます。

エラーメッセージ全般

降雨対応放送に切り換わりました。(E201)

- 気象条件などによって信号レベルが下がると、自動的に降雨対応放送に切り換わります。気象条件が回復して信号レベルが上がると、通常の放送に戻ります。

受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)

- 放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)に対応したアンテナにつないでください。
- アンテナや分配器、分波器、ブースターなどがBS/110度CSデジタルに対応していないと受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。
- アンテナケーブルがゆるんでいたり、切れたりしていないか確認してください。
- 受信レベル(32、33 ページ)を確認しながら地上波アンテナや衛星アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。
- BS/110度CSデジタルが受信できないときは、[アンテナ電源]を[入]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください (33 ページ)。

- ・雨や雪が降るとBS/110度CSデジタルが受信できないことがあります。お住まいの地域が晴れても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると受信できないことがあります。天候の回復をお待ちください。
- ・放送の休止中や終了しているときに、このメッセージが表示されることがあります。番組表などで放送時間を確認してください。

現在、このチャンネルは放送を休止しています。

(E203)

- ・放送の休止中や終了しているときに、このメッセージが表示されることがあります。番組表などで放送時間を確認してください。
- ・雨や雪が降り、一時的にBS/110度CSデジタルが受信できないときに、このメッセージが表示されることがあります。

このボタンにチャンネルは設定されていません。

- ・数字ボタンを押す前に、見たい放送のボタン(地デジ、BS、CS)を押してください。
- ・番組表でチャンネルを確認してください。
- ・[チャンネル設定]でリモコンの数字ボタンにチャンネルを割り当ててください(32 ページ)。
- ・チャンネル番号を直接入力するときは、10キーを押したあとに数字ボタンを押してください。

B-CASカードを正しく挿入してください。挿入しても、このメッセージが表示される場合は、一旦電源を切り、カードを抜いて裏側の端子部分の汚れをふき取ってから挿入し直してください。それでも治らない場合は電源コードの抜き差しをしてください。

- ・本体の電源ボタンを押してテレビの電源を切り、B-CASカードを入れ直してから、B-CASカードのテストをしてください(33 ページ)。
- ・乾いた柔らかい布でB-CASカードの金色の端子部の汚れをそつとふき取ってください。

USBハードディスク機器に関するエラーメッセージ

USB機器が見つかりません。

- ・接続ケーブルの端子が正しく、しっかりと差し込まれているか確認してください。
- ・USBハードディスク機器の電源を入れてください。
- ・テレビを電源スタンバイにし、USBハードディスク機器の電源を入れ直してください。

再生できません。

- ・本機で録画した番組以外は再生できません。同じ型名のテレビでも本機以外のテレビで録画した場合は、再生できません。

番組情報が取得できないため録画できませんでした。

- ・録画した番組がUSBハードディスク機器に正常に保存されなかったときのメッセージです。
- ・[録画ボタン設定]を[番組終了]に設定して録画したときに、番組情報が取得できないと、終了時刻が不明のため録画されません。番組情報が取得できるまで待つか、[録画ボタン設定]を[3時間録画]に設定し直してから録画してください(19 ページ)。

USB端子の電源容量を超えました。接続機器を外して、本体の電源をオフ、オンしてください。

- ・USBバスパワー(テレビから電源供給)で動作するUSBハードディスク機器をつないだため、使用電力がテレビの限界を超えました。以下の手順で復旧してください。
 - ① USBハードディスク機器の接続ケーブルを抜く。
 - ② 本体の電源ボタンを押して、テレビの電源を切る。
 - ③ テレビの電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む。
 - ④ 本体の電源ボタンを押して、テレビの電源を入れる。
 - ⑤ USBハードディスク機器をつなぐ。
 再び同じエラーメッセージが表示されるときは、USBハードディスク機器にACアダプターを接続してください。

録画・再生用のHDDがありません。

- ・USBハードディスク機器を登録してください(36 ページ)。

録画中は操作できません。

- ・録画が完了するまで待つか、USBハードディスク機器の録画を停止してください。

この操作を行うには、録画を中止する必要があります。録画を中止しますか？

- ・録画が完了するまで待つか、USBハードディスク機器の録画を停止してください。

HDDがいっぱいのため、録画できません。

- ・録画リストボタンを押して、USBハードディスク機器の録画可能時間が足りているか確認してください。
- ・不要な番組をUSBハードディスク機器から消去してください(26 ページ)。
- ・別のUSBハードディスク機器を使用してください。

インターネットに関するエラーメッセージ

家庭内ネットワークへの接続に失敗しました。ケーブルの接続、ネットワーク設定を確認してください。

- LANケーブルやネットワーク機器の電源コードが外れていないか確認してください。
- IPアドレスやDNSアドレスなど、[ネットワーク接続]の設定を確認してください(42 ページ)。
- ルーターが正しく設定されているか確認してください。ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

不正な値です。再度入力してください。

- IPアドレスやDNSアドレスなど、[ネットワーク接続]の設定を確認してください(42 ページ)。

ケーブルテレビをご利用のかた

ケーブルテレビ放送会社にご相談ください。

ケーブルテレビ放送会社の連絡先がわからないときは、下記までお問い合わせください。

(社)日本ケーブルテレビ連盟 電話:03-6228-6639
提供地域(エリア)については、下記ホームページでご確認ください。

<https://www.catv-jcta.jp/>

有料放送のお問い合わせ先

• NHK

受信機設置のご連絡とメッセージ消去

電話:0120-933-933

<https://nhk.jp/cas>

• WOWOW

電話:0120-580-807

<https://www.wowow.co.jp/>

• スター・チャンネルカスタマーセンター

電話:0570-013-111または044-540-0809

<https://www.star-ch.jp/>

• スカパー! カスタマーセンター(総合窓口)

電話番号:0120-211-855

受付時間:10:00 ~ 20:00<年中無休>

<https://www.skyperfectv.co.jp/>

サポートページで最新の情報を調べる

インターネットにつながっているパソコンやスマートフォン、タブレットを使って、テレビの最新情報や困ったときの解決方法を<ブラビア>サポートページで調べることができます。

ブラウザーのアドレス欄にURLを入力するか二次元コードを読み込み、サポートページを表示してください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>



保証書とアフターサービス

保証書について

- ・この製品は、保証書が添付されています(裏表紙)。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ・本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

- ・製品内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。修理をご依頼の際は原因特定のため、ご使用中のケーブル類なども合わせてお持ちください。
- ・BS、110度CSの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社にお問い合わせください。
- ・デジタル放送全般については(社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)のホームページをご覧ください。
<https://www.apab.or.jp/>

保証期間中の修理は

- ・保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは、保証書をご覧ください。
- ・何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器(デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ソニーの相談窓口のご案内

本製品についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、ホームページまたはソニーの相談窓口へ。

相談窓口へお問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ご質問の内容によっては、本機に接続される機器についてお問い合わせさせていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

本機の型名、シリアルナンバーおよび定格は、本機背面に記載されています。

型名:K-32W840

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country/region.



愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！

こんな症状はありませんか

- ・電源コードやプラグが異常な熱を持っていませんか
- ・異常な熱や煙が発生したり変な臭いや音(パチパチ)がしませんか
- ・電源を入れても画像や音が出ないことがありませんか
- ・故障状態のまま使用していませんか



すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のために、お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。

困ったときは

お問い合わせ窓口

●各種お問い合わせ

様々なお問い合わせ方法を準備しております。
お気軽に LINE、チャット、メールでお問い合わせください。
詳しくは 以下のホームページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/inquiry.html>

●電話でのお問い合わせ

【使い方相談窓口】

フリーダイヤル:0120-333-020
携帯電話・一部のIP電話:050-3754-9577

【修理相談窓口】

フリーダイヤル:0120-222-330
携帯電話・一部のIP電話:050-3754-9599

FAX: (共通)0120-333-389



ガイドanceに沿って
短縮番号「200」+「#」を押すと、
担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

安全のために

危険



下記の注意を守らないと
火災・感電・破裂などに
より死亡や大けがなどの
人身事故が生じます。

次のことを守って、本機を設置する

テレビが落下して、重大な人体傷害または死亡の要因になるおそれがあります。多くの傷害、特に子どもに対するものは、次のような簡単な予防措置をとることによって、避けることができます。

- 常に、ソニーが推奨したキャビネット、またはスタンド、または取付手段を使用する。
- テレビを安全に支持することができる家具だけを必ず使用する。
- 支持している家具の端から、テレビが突き出ないことを確実にする。
- テレビまたはその制御部に到達するために家具によじ登ることの危険性を子どもに必ず教育する。
- テレビに接続するコードやケーブルを引掛けてしまったり、引っ張ったり、つかんだりしないように必ず配置する。
- 決して、不安定な場所にテレビを置かない。
- 家具およびテレビの両方に適切な支持体にしっかりと固定することなく、背の高い家具(例えば、食器棚や書棚)の上に機器を決して置かない。
- テレビと支持している家具との間に、布または他の材料を置いてテレビを決して置かない。
- テレビの上やテレビの置かれている家具の上に、子どもがよじ登りたくなるようなもの(玩具やリモコンなど)を決して置かない。

既存のテレビを使い続けるまたは再配置する場合にも、上記と同じ事項を適用することを推奨します。

転倒防止の処置を必ず行う

転倒防止の処置をしないと、本機が倒れだけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などと本機の間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。(転倒防止の処置については組み立て／設置ガイドをご覧ください。)



人が通行するような場所に置かない

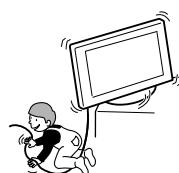
コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。



乳幼児がコードを引っ張る恐れのない場所に電源コードや信号ケーブルを配置してください。



不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。

平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

テレビが落下し、大けがまたは死亡の原因となる可能性があります。



本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。



テレビ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。



壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

- 専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。(テレビの質量は、63 ページをご覧ください。)

- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。



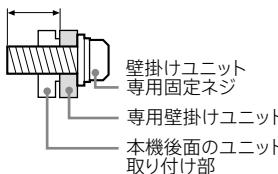
禁止

次のことを守って、壁掛けユニットに本機を設置する

誤った取り付け方法で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

- ・壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- ・壁掛けユニットの取り付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジを使う。専用固定ネジは、取付金具の取り付け面からの長さが図のように設定されています(壁掛けユニットによってネジの長さは異なります)。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因になります。
- ・取り外したネジは、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。テレビを付属のスタンドに戻す場合は、必ず保管したネジを元の場所に取り付けてください。

8 mm ~ 12 mm



医療機器としての使用はできません

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



禁止

医療機器に近づけない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

子どもや監督を必要とする方などの手の届くところに置かない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こす恐れがあります。磁石を飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



下図のような設置はおやめください。



禁止

空気が抜けなくなります。



空気が抜けなくなります。

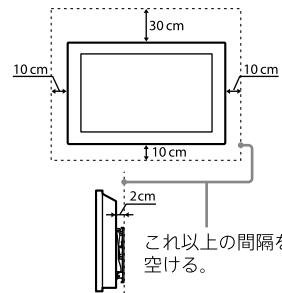


周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。

本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

壁に取り付けるとき



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

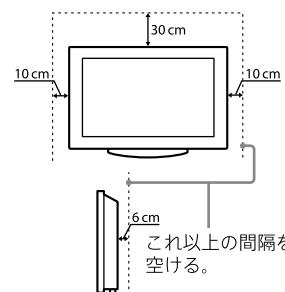
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- ・棚や押入の中に置かない。
- ・ホットカーペットの上に置かない。
- ・布をかけない。
- ・壁や家具に密着して置かない。また毛足の長いじゅうたんや布団などの上に置かない。
- ・本機の下に物を置かない。
- ・メディアレシーバーユニットの上に物や他機器を置かない。



禁止



スタンドを使用するとき



電源(コード、プラグ)

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V(50/60 Hz)以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。
海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。



電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

電源コードを抜くときは必ず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

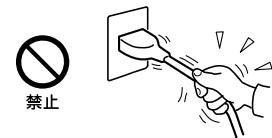
電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



雷が鳴りだしたら、アンテナケーブルや電源プラグに触れない

感電の原因となります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



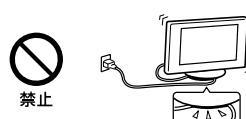
プラグをコンセントから抜く

使用

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

液晶画面や本機の背面など機器全体に直接水や洗剤をかけない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



リモコン及び電池の取り扱いについて

- 直射日光が当たるところ、火や暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。
- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因となることがあります。



接触禁止

目や口に液晶を入れない／ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるだけをするおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触ると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



接触禁止

移動、設置

正しい方法で運搬／移動する

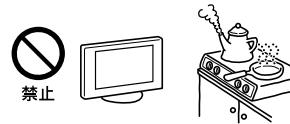
- 誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
- 本機を持ち運ぶ際には、取扱説明書をご参照の上、正しい方法で行ってください。
- 本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

湿気、ほこりの多いところ、油煙や湿気が当たるようなところ(調理台や加湿器のそば)におかないでください。火災・感電・変形などの原因となることがあります。



乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。



可動式の台に設置しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障するがあります。

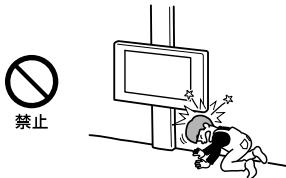
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。



壁掛け設置

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。



テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない

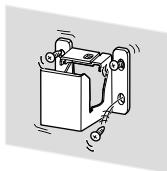
テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってねれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかりと取り付けける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(必要本数以上)で、しっかりと固定してください。



取扱説明書の説明に従って、付属のネジと取り付け金具を使う

付属品を使わずに代替品を使用して取り付けると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因になります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることができます。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



壁の材質や構造に適したネジを使う

壁掛けユニットを壁面に固定するネジを付属していません。壁の材質や構造に適したネジをご準備ください。

本機を床に垂直に設置し固定する

本機を傾けた状態で設置すると、テレビが落下して、けがや破損の原因となります。

注意

下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない

付属品の小さな部品を飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。

完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。



スラグをコンセントから抜く

液晶画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。



液晶画面の外周に衝撃を与えない

ガラスの縁にヒビが入ったり、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。



音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。

ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

リモコンによる遠隔操作について

無線リモコン、またはVideo & TV SideViewなどのアプリを搭載したスマートフォン／タブレットのリモコン機能による遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行ってください。

同軸ケーブルの接続について

主電源接続、または他の機器を通じて建物の設備の保護接地に接続し、かつ、同軸ケーブルを使ってテレビ信号分配システムに接続する機器は、ある種の条件下では火災の原因となる可能性があります。従って、テレビ信号分配システムへの接続は、ある程度の周波数範囲以下で電気絶縁する機器(ガルバニック絶縁器についてはEN60728-11を参照)を備えなければなりません。

オプション機器について

本機は3メートル未満の信号ケーブルを使用した場合にEMC規格の制限に準拠していることがテストにより確認されています。

磁気の影響を受けやすい物に近づけない

本製品(カバー類などの付属品を含む)は磁石を使用しています。磁気の影響を受けやすい物(磁気ストライプ付きのキャッシングカードやクレジットカードなど)を本製品の近くに置かないでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

△ 危険

- ・電池を直射日光、火のそばなどの高温になる場所や、極端に低い気圧になる場所に置かないでください。
- ・爆発、液漏れ、ガス漏れする可能性があります。

△ 警告

- ・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・充電しない。
- ・+と-の向きを正しく入れる。
- ・電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出してください。
- ・新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- ・指定された種類の電池以外使用しない。誤った型式の電池を使用すると、爆発する可能性があります。

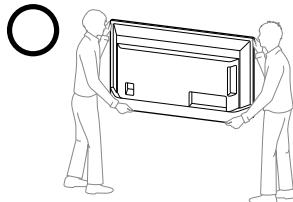
△ 注意

- ・指定された種類の電池を使用する。
 - ・廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとつから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

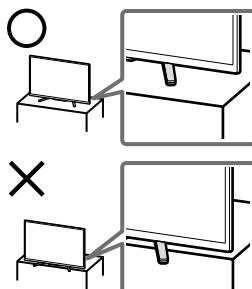
使用上のご注意／お手入れ

運搬／設置について

- 正しい方法で運搬／移動してください。誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
- テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。



- 運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
- 修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときや、湿気の多い場所や暖房を入れたばかりの部屋などでは、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは、本機の電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。
- テレビ台からはみ出さないように設置してください。スタンド設置時には、お子さまが近づかないようにご注意ください。



- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、後面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 壁に取り付ける場合、機械的振動の多い場所には設置しないでください。

液晶画面、外装のお手入れについて

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。

- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがあります。故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがあります。時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがあります。故障ではありません。
- 長時間使用したときなどに、ディスプレイユニットのパネル周辺部分やメディアレシーバユニットの上部が熱くなり、手で触ると熱く感じることもあります。また、変形しやすいもの（オーディオテープやビデオテープなど）をメディアレシーバユニットの上に置かないでください。
- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかつたり、黒い点（減点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

電源コードが同梱されている機種について

同梱されている電源コードはその機種専用のものです。
他の機器では使用しないでください。

ネットワークへの接続について

- この機器は、電気通信回線設備に直接接続することができません。この機器をインターネットに接続する場合は、必ず電気通信事業法の認定を受けたルーター等を経由してください。
- 本機をネットワークにつなぐ際は、セキュリティ強化のため、ルーターもしくはルーター機能を有したLANポートへつないでください。セキュリティの問題が発生すると、テレビがインターネットを通じてマルウェア（悪意のあるソフトウェア）などによる被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんされてしまうことがあります。また、お使いの機器が意図せずに各種ネットワークサービスに損害を与える可能性があります。

メモリーに保存されるデータについて

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたってメール、番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。消去の方法については、「設定情報リセット」（33 ページ）をご覧ください。ネットワークサービスをご利用の場合はログアウト処理も行ってください。消去によりアカウントやパスワードなどが消えてしまうサービスもあります。消去前に記録しておいてください。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

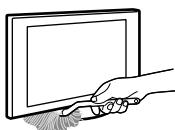
廃棄するときのご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お手入れ

誤ったお手入れをした場合、テレビを傷つけたり、故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。

- ・本機に直接水や洗剤をかけないでください。吹きかけた水や洗剤が画面下部や外装部にたれて本機が故障する場合があります。
- ・画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようしてください。
- ・画面の汚れについては、マイクロファイバークロスを使用してふいてください。
- ・画面以外について、軽い汚れのときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに浸した布を固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。
- ・テレビの下は柄つきのモップなどを使用してください。
- ・狭いので手を入れて掃除しないでください。
- ・市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。
- ・印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧にふいてください。爪などでひっかくと、印刷面が傷つくことがあります。
- ・液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。



以下のことは行なわない

- ・殺虫剤やシンナー、ベンジンのような揮発性のもの、クレンザーのような研磨剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。
- ・画面の汚れをふき取るときは、スピーカー部を持ったり、画面に圧力をかけたりしないでください。
- ・ゴムやビニール製品に長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。
- ・ハンドクリーム、日焼け止めクリームなどが手に付いた状態で本機に触らないでください。変色、変形の原因になります。



録画・再生機能についてのご注意

USBハードディスク機器をご使用時の注意事項

- ・録画・再生中ではなくても、USBハードディスク機器が接続された状態で、電源コードやUSBケーブル、USBハードディスク機器側の電源コードを絶対に抜かないでください。録画された番組が消滅することがあります。
- ・「USBハードディスクを取り外す」(38 ページ)を行ない、接続状態を解除してから、USBハードディスク機器をテレビから取り外してください。
- ・録画ボタンを押して開始した録画より、録画予約が優先されます。録画ボタンでの録画を優先する場合は、録画予約を取り消してください。
- ・160GB未満の容量のUSBハードディスク機器は認識できません。
- ・本機はすべてのUSBハードディスク機器の動作を保証しているわけではありません。
- ・USBハードディスク機器に録画予約した場合は、USBハードディスク機器を取り外さないでください。
- ・USBハードディスク機器を初期化すると、USBハードディスク機器内の録画した内容がすべて削除されます。
- ・USBハードディスク機器を接続してから認識するのに一定の時間がかかります。
- ・USBハードディスク機器には専用のACアダプターの接続が必要なことがあります。接続が必要かどうかは、USBハードディスク機器の取扱説明書などで確認してください。
- ・故障でテレビを修理したときは、USBハードディスク機器に録画した番組が再生できなくなります。USBハードディスク機器を再登録すると録画できるようになりますが、録画した番組はすべて消去されます。
- ・USBハブを使用した場合、その後に接続した機器が8台までUSB機器一覧画面に表示され、一覧から選んで録画用として登録できます。ただし、USBハブによっては機器の認識や録画が正しく動作しないことがあります。USBハブは使用せず、テレビに直接USBハードディスク機器を接続することをおすすめします。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因でUSBハードディスク機器に記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因でUSBハードディスク機器の記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

制約事項・注意事項について

- USBハードディスク機器に録画できる最大番組数は3,000番組です。ハードディスクの残量がなくなると最大数まで録画できません。
- 本機ではリモコンの電源ボタンで電源スタンバイにしても、予約した録画開始時刻になると録画が始まります。ただし、本体の電源ボタンで電源を切ると、録画されません。
- 録画ボタンで録画を開始しても、すぐに録画が始まらないことがあります。
- 録画可能時間は目安としてご覧ください。実際の録画可能時間は、放送や映像により異なります。
- 停電があった場合は録画されません。
- 番組連動データは録画されません。
- 地上デジタルのデータ放送や、BS/110度CSデジタルのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- デジタル放送の予約では、番組放送時間が変更になった場合でも時間変更に対応して録画することができますが、放送の状況によっては時間変更の検出が遅れることがあります。このとき、番組の先頭が録画されていない場合があります。
- 録画された番組の双方向サービスはご利用になれません。
- USBハードディスク機器を、他のテレビ(同じ型名のテレビを含む)やパソコンなどに接続しても本機で録画した番組は再生できません。

録画制限と著作権保護について

デジタル放送では、番組の著作権を保護し、不正コピーやインターネットへの不正な配信を防ぐため、コピー制御信号を番組に多重し、暗号をかけて放送されております。同梱されているB-CASカードは必ず挿入してください。

デジタル放送の番組には次のような「コピー制御信号」が付加されています

「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているためハードディスクに録画できません。
番組内容画面で「デジタルコピー」情報を確認してください。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのはかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

主な仕様

システム

受信方式

地上デジタル放送方式、BSデジタル放送方式、110度CSデジタル放送方式

受信チャンネル

地上デジタル(VHF:1~12、UHF:13~62、CATV:C13~C63)

CATVはケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要

BSデジタル・110度CSデジタル(テレビ・ラジオ・独立データ)の各チャンネル

BSデジタル・110度CSデジタル対応周波数

1032 MHz~2071 MHz

パネルシステム

LCDパネル、LEDバックライト

使用スピーカー

フルレンジ 25×90 mm(2)

音声出力(実用最大出力)

5 W+5 W

入出力端子

アンテナ端子

地上デジタル、BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター(コンバーター用電源出力、DC15 V最大4 W、芯線側+、入/切、メニュー切り換え)

HDMI1~2入力端子

HDMI映像:480i、480p、720p (60 Hz)、1080i (60 Hz)、1080p (60, 30 Hz)、1080/24p、PCフォーマット
音声:2チャンネル リニアPCM (32/44.1/48 kHz、16/20/24ビット)、MPEG2 AAC(デジタル放送)
Audio Return Channel(ARC)対応 (HDMI1入力のみ)

音声出力端子(ヘッドホン端子兼用)

ステレオミニジャック

LAN(10/100)端子

10BASE-T/100BASE-TXコネクター(ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)

USB端子

Hi-Speed USB

電源部、その他

動作温度

5 °C ~ 35 °C

動作湿度

10% ~ 80% (結露なきこと)

消費電力

67 W

消費電力(待機時)

0.5 W(リモコン待機時 ただし、データ取得時を除く)

年間消費電力量

71 kWh/年

区分名

b

受信機型サイズ

32V

パネル解像度

1920×1080×3(RGB)
(ドット:水平×垂直)

有効画面サイズ*(幅・高さ・対角)

69.8・39.2・80.0 cm

視野角(左右/上下)

178/178度
(JEITA規格準拠コントラスト比10:1)

最大外形寸法*

(最大突起部分を除く)
(幅×高さ×奥行き)
73.3×44.2×7.8 cm
73.3×46.7×18.8 cm(スタンド含む)

質量*

4.8 kg
5.0 kg(スタンド含む)

電源

AC 100 V、50/60 Hz

定格出力

USB:5 V、500 mA MAX

* 有効画面サイズおよび最大外形寸法と質量は、おおよその値です。

別売アクセサリー

壁掛けユニット:

SU-WL450

・受信機型サイズ(32V)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

・このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。

・仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

・「JIS C 61000-3-2適合品」です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値・高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20 A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

PC入力対応信号表

	解像度 水平[pixel]／垂直[line]	周波数 水平[kHz]／垂直[Hz]
720p	1280/720	45/60
1080p	1920/1080	67.5/60
VGA	640/480	31.5/60
SVGA	800/600	37.9/60
XGA	1024/768	48.4/60
WXGA	1360/768	47.7/60
SXGA	1280/1024	64/60

- Sync on Green/Composite Sync/Interlace信号には対応していません。
- PC入力対応信号表以外の信号を入力した場合、正しく表示されなかったり、各種設定ができなかったりすることがあります。
- 垂直周波数が60Hzの入力信号を推奨しています。
- 接続状況によっては、映像がにじんだりぼやけたりして、正しく表示されないことがあります。その場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。

区分名と年間消費電力量について

区分名

省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。

年間消費電力量
省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間(5.1時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

商標、ライセンス

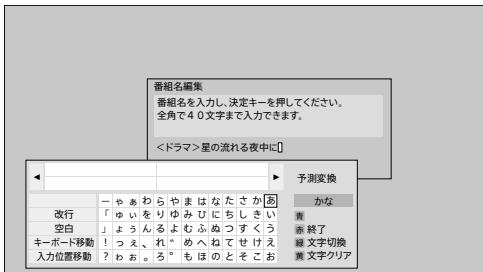
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- BRAVIA、ブラビア及びBRAVIA ロゴはソニー株式会社の登録商標です。



文字を入力する

キーボード画面で文字を選ぶ方式と、リモコンボタンを押して文字を入力する方式があります。

キーボード画面で文字を入力する



1 緑ボタンを押して、文字の種類を切り換える。

押すたびにひらがな、カタカナ、英数字に切り換わります。

2 キーボードから文字を選び、決定ボタンを押す。

■ 漢字などに変換するには

青ボタンを押してから漢字などを選び、決定ボタンを押します。

[変換方式]を[予測方式]に設定しているときは、変換候補から漢字などを選び、決定ボタンを押します。変換候補から選びたくないときは、青ボタンを押します。

■ 文字を変換しないときは

赤ボタンを押します。

■ 文字を挿入するには

[入力位置移動]を選び、決定ボタンを押します。挿入したい位置にカーソルを移動し、決定ボタンを押してから文字を選びます。

■ 文字を削除するには

[入力位置移動]を選び、決定ボタンを押します。削除したい文字にカーソルを移動し、消去ボタンを押します。

3 文字の入力が終了したら、赤ボタンを押す。

■ 入力を途中でやめるには
戻るボタンを押します。

リモコンボタンを押して文字を入力する

携帯電話のように、1～12の数字ボタンを押して文字を入力します。

1 緑ボタンを押して、文字の種類を切り換える、決定ボタンを押す。

押すたびにひらがな、全角カタカナ、半角英字、全角数字に切り換わります。

2 1～12の数字ボタンを押して、文字を入力する。

■ 濁音(‘)や半濁音(‘)を入力するには
文字に続けて10ボタンを押します。

■ 同じボタンの文字を続けて入力するには
➡ボタンを押してから、次の文字の数字ボタンを押します。

■ 記号を入力するには

「きごう」と入力して変換します。

■ 漢字などに変換するには

◆ボタンを繰り返し押し、変換したい漢字が見つかったら決定ボタンを押します。変換したい漢字が見つからないときは、◆/➡ボタンを押して変換する範囲を変更し、▲/▼ボタンで探します。

[変換方式]を[予測方式]に設定しているときは、変換候補から漢字などを選び、決定ボタンを押します。変換候補から選びたくないときは、緑ボタンを押します。

■ 文字を変換しないときは

決定ボタンを押します。

■ 文字を挿入するには

挿入したい位置を選び、文字を入力します。

■ 文字を削除するには

削除したい文字にカーソルを移動し、消去ボタンを押します。

3 文字の入力が終了したら、決定ボタンを押す。

- 入力を途中でやめるには 戻るボタンを押します。

入力文字一覧

ボタン	文字の種類			
	ひらがな	カタカナ	英字	数字
1	あいうえお あいうえお1	アイウエオ アイウエオ1	@ . / : ~ _ # \$ % * + = ^ ` 1	1
2	かきくけこ2	カキクケコ2	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	d e f D E F 3	3
4	たちつてと つ4	タチツテト ツ4	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの 5	ナニヌネノ 5	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ 6	ハヒフヘホ 6	m n o M N O 6	6
7	まみむめも 7	マミムメモ 7	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよ やゆよ8	ヤユヨ ヤユヨ8	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、。？！・ () 0	、。？！・ () 0	- ; ' " ? ! & ¥ () < > [] { } 0	0
11	わをんわー (スペース)	ワヲンワー (スペース)	(スペース)	*

入力方法を変更する

リモコンボタンまたは画面キーボードのいずれかの方法に変更できます。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定] – [機器設定] – [その他の設定] – [文字入力設定] を↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

3 [入力方法] で [リモコンボタン] または [画面キーボード] を選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

変換方式を変更する

予測候補を表示するかどうかを設定します。

1 ホームボタンを押す。

2 [設定] – [機器設定] – [その他の設定] – [文字入力設定] を↑/↓ボタンと決定ボタンで順に選ぶ。

3 [変換方式] で [通常方式] または [予測方式] を選び、決定ボタンを押す。

戻るボタンを押して、元の画面に戻ります。

再設置する／テレビを壁に取り付けて使う

再設置する

再設置のしかたは、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。

組み立て／設置ガイドはWebサイトからダウンロードすることもできます。

スタンドの外しかたは、同じページの壁掛けユニット取付方法をご覧ください。

壁に取り付ける

テレビの機種によって、お使いいただける別売の壁掛けユニットの型名が異なります。「主な仕様」(63ページ)をご覧になり、お持ちのテレビに対応している壁掛けユニットをお使いください。

壁に取り付ける場合は、必ず指定の壁掛けユニットを用い、専門業者に取り付けを依頼してください。

また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

壁掛けユニットを取り付けるには、テレビに取り付けたスタンドを外し、壁の取り付け位置の確認をしたり、テレビに必要な部品を取り付ける必要があります。

取り付けかたについて詳しくは、壁掛けユニットに付属の取扱説明書およびガイドと、以下のWebサイトから「壁掛けユニット取付方法」(PDF)をダウンロードしてご確認ください。

〈ブラビア〉サポートページ

<https://www.sony.jp/support/tv/products/w840/manual.html>

ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新内容についてはブラビア サポートページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>



ソフトウェアに関する重要なお知らせ

ソフトウェア使用許諾契約書

最終更新:2025-03

本契約は、ソニー株式会社(以下「ソニー」といいます)からお客様(お客様が法人その他の事業者を代理する場合はその事業者を含み、併せて以下「お客様」といいます)への本製品に含まれるソフトウェア(コンピューターソフトウェア、関連データ、パッケージ同梱またはソニーのウェブサイトその他オンラインで提供されるマニュアルなどの関連書類および電子文書ならびにそれらのアップデート・アップグレード版を含み、以下「許諾ソフトウェア」といいます)の使用権の許諾に関する条件を定めるものです。許諾ソフトウェアを使用いただく前に、本契約をお読み下さい。お客様による許諾ソフトウェアの使用開始をもって、本契約にご同意いただいたものとします。

本契約にご同意いただけない場合、許諾ソフトウェア(以下に定義します)を使用することはできません。なお、許諾ソフトウェアの中には、ソニー以外のソフトウェアの権利者が定める使用許諾条件(GNU General Public License (GPL), Lesser/Library General Public License (LGPL)を含みますが、これらに限られるものではありません)を伴うソフトウェア(以下「対象外ソフトウェア」といいます)が含まれている場合があります。対象外ソフトウェアの使用は、各権利者の定める使用許諾条件に従っていただくものとします。また、許諾ソフトウェアの使用に伴い、許諾ソフトウェアが自動的に許諾ソフトウェアで用いるためのデータファイル等を作成する場合があります。この場合、当該データファイル等は許諾ソフトウェアとみなされるものとします。

第1条(総則)

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法ならびに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他の知的財産権に関する法令によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーからお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権はお客様に移転いたしません。

第2条(使用権)

ソニーは、許諾ソフトウェアを、お客様が本製品上で、本契約の条件およびマニュアル等の指示・注意事項に従って、個人的な目的(お客様が事業者である場合は事業部での業務遂行目的)で使用する、非独占かつ譲渡不能な権利をお客様に許諾します。

第3条(権利の制限および禁止事項)

お客様は、以下の行為を行ってはならず、また、第三者に対して以下の行為を指示または許容してはならないものとします。

- 許諾ソフトウェアの全部または一部を複製、複写、配布、譲渡、販売したり、これに対する修正、追加等の変更をしたり、許諾ソフトウェアの派生物を作成(許諾ソフトウェアの正常な動作によって作成される場合を除きます)する行為。
- 許諾ソフトウェアに含まれるトレードマークやその他の権利標記等の表示を削除したり、外観の変更をする行為。
- 別途明示的に許諾されている場合を除き、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リースその他の方法で第三者に使用させる行為。
- 別途明示的に許諾されている場合を除き、許諾ソフトウェアの一部またはその構成部分を許諾ソフトウェアから分離して使用する行為。
- 許諾ソフトウェアを用いて、ソニーまたは第三者の権利もしくは法律上保護される利益(知的財産権、営業秘密、名誉、プライバシー、肖像権、パブリティックリーム、所有権を含みますがこれらに限られません)を侵害し、または法令、裁判所の判決その他の機関による法的拘束力のある処分もしくは公序良俗に反する行為。
- リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等の許諾ソフトウェアのソースコードを解析する行為。
- サーバーへの過大な負荷その他手段を問わず、許諾ソフトウェアの適切な稼働を妨げ、または干渉する行為。
- 許諾ソフトウェアの適切な稼働を妨げけるコンピュータウイルスまたは悪意のあるコード、ファイル、指示等を取り込み、または許諾ソフトウェアを通じて送る行為。
- 許諾ソフトウェアのセキュリティ機能や技術的保護手段を回避、変更、停止し、またはこれらに干渉する行為(許諾ソフトウェアと連動するネットワークやサーバー等に対してなされる行為を含みます)。
- その他の本契約に反する目的または態様で許諾ソフトウェアを使用する行為。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、ソニー、ソニーの関係会社またはソニーが本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利をソニーまたはソニーの関係会社に許諾した原権利者(以下「原権利者」といいます)に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(オープンソースソフトウェア)

- 対象外ソフトウェアには、①ソースコードの形式でまたは無償で公に入手可能なソフトウェアを含むものまたはその派生物であり、かつ②本契約の規定と異なる定めの適用を受けるソフトウェア(対象となるソフトウェアおよびその派生物をソースコードの形式で開示または頒布する義務、対象となるソフトウェアを任意の第三者に対して自由に使用許諾させる義務等を含みますがこれに限られません)。また、これには GNU General Public License (GPL)やGNU Lesser/Library General Public License (LGPL)に基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれますがこれに限られません)(以下「オープンソースソフトウェア」といいます)が含まれることがあります。
- ソニーが開示するオープンソースソフトウェアのソースコードは、<https://oss.sony.net/Products/Linux>またはその他ソニーの指定するサイトにてご確認下さい。オープンソースソフトウェアには、それぞれのオープンソースソフトウェアに該当するライセンス条件が、本契約の代わりに適用されます。

第6条(責任の範囲)

- ソニーは、許諾ソフトウェア上の広告を含む許諾ソフトウェアからのリンクにより遷移可能な第三者のウェブサイトやサービスに関して、内容等の正確性、安全性その他のいかなる事項についても、明示または黙示を問わず何らの保証も行わないものとし、お客様による当該ウェブサイトやサービスの利用に起因する損害その他の結果について一切責任を負わないものとします。
- ソニーは、許諾ソフトウェアに関して、エラー、バグ等の不具合がないこと、許諾ソフトウェアが中断なく稼働すること、許諾ソフトウェアの使用がお客様および第三者に損害を与えないことならびに第三者の知的財産権を侵害していないことその他のい

かなる事項についても、明示または黙示を問わず何らの保証も行いません。ただし、ソニーは、エラー、バグ等の不具合に対応するため、許諾ソフトウェアのアップデートファイル等の提供による許諾ソフトウェアの修正または当該エラー、バグ等についての問い合わせ先の通知を行なうことがあります。本項に定めるアップデートファイル等の提供方法または問い合わせ先の通知方法はソニーがその裁量により定めるものとします。

- 許諾ソフトウェアの動作や機能が依存する可能性のある、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェアまたはネットワーク等サービス(当該製品、ソフトウェアまたはサービスは第三者が提供する場合に限られず、ソニーが提供する場合も含みます)は、当該製品、ソフトウェアまたはネットワーク等サービスの提供者の判断により、その機能等の全部または一部が変更され、または提供や稼働が中断もしくは終了する場合があります。ソニーは、許諾ソフトウェアの動作や機能が依存する可能性のあるこれらの製品、ソフトウェアまたはネットワーク等サービスが、変更、中断なく将来に亘って正常に提供され、稼働することを保証いたしません。
- 許諾ソフトウェアは、本製品がインターネットに接続している場合に、自動的にアップデートされることがあります。また、アップデートを求める通知がなされ、お客様において手動でアップデートを行なう場合もあります。アップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあります。また、お客様が、自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、お客様がアップデートを求める通知に従ってアップデートを行わない場合、当該許諾ソフトウェアの全部または一部の機能が使用できない場合があります。お客様は、ソニーの提供する最新のアップデートを実施しなかったことに起因する支障等にに関して単独で責任を負うものとします。
- ソニーは、許諾ソフトウェアおよび許諾ソフトウェアとともに利用される他のソフトウェア、機器(本製品を含みます)、設備、システムまたはネットワークが、第三者によるサイバーアクションの対象となり得ないことがや、防御が完全であることを保証いたしません。
- 本契約の他の規定にかかわらず、ソニーは、その債務不履行または不法行為によりお客様に損害が生じた場合、お客様に通常生じうる損害の範囲内で、かつ、お客様が許諾ソフトウェア、許諾ソフトウェアが付属または組み込まれたソニーの製品または許諾ソフトウェアを用いて利用するソニーのサービスのために支払った金額の合計額を上限として、これを賠償する責任を負うものとし、特別な事情から生じた損害その他の結果(発生を予見または予見し得た場合を含みます)については一切責任を負わないものとします。ただし、ソニーは、その故意または重大な過失による債務不履行または不法行為に起因してお客様に生じた損害に対する賠償責任については、免責されないものとします。
- 許諾ソフトウェアや付随するサポート等は、本契約に基づき、ソニーからお客様に対して提供されるものであり、ソニーの関係会社や原権利者は、法令上別段の定めがある場合およびソニーの関係会社や原権利者がお客様と別段の合意をした場合を除き、許諾ソフトウェアや付随するサポート等に関してお客様に対し一切責任を負わないものとします。

第7条(用途の限定)

許諾ソフトウェアは、高度の安全性が要求され、許諾ソフトウェアの不具合や中断が生命、身体への危険、有体物または環境に対する重大な損害に繋がる用途(例えば、原子力発電所を含む核施設の制御、航空機の制御、通信システム、航空管制、生命維持装置また

は兵器)を想定しては設計されていません。ソニーは、許諾ソフトウェアがこれら高度の安全性が要求される用途に合致することを一切保証いたしません。

第8条(第三者に対する責任)

お客様が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で権利侵害その他の事由により紛争が生じたときは、お客様自身が自らの費用と責任で解決するものとし、ソニー、ソニーの関係会社および原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第9条(知的財産権保護)

お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権法ならびに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他の知的財産権に関する法令に従うものとします。また、許諾ソフトウェアが著作物等の複製、保存および復元等の機能を有する場合、ソニーは、著作物等に関する知的財産権の保護に必要な範囲で、複製、保存および復元等の機能の制限その他必要な措置をとることができるものとします。

第10条(ネットワークサービス)

許諾ソフトウェアは、ネットワークサービスの利用を想定している場合があります。ネットワークサービスを利用するにあたっては、当該ネットワークサービスの利用条件に従っていただく必要があります。ネットワークサービスを利用されない場合、許諾ソフトウェアの動作や機能は、インターネット環境により限定的なものとなる場合があります。また、ネットワークサービスの内容変更、提供の中止もしくは終了またはインターネット環境等により、許諾ソフトウェアとともに使用されるコンテンツ等が利用できなくなる場合があります。

第11条(契約の終了)

- ソニーは、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約し、またはそれによつて被った損害の賠償をお客様に対し請求できるものとします。
- 前項またはその他の事由で本契約が終了した場合でも、第4条から第16条の規定は有効に存続するものとします。

第12条(許諾ソフトウェアの削除等)

前条その他の事由により本契約が終了した場合、お客様は、合理的に可能な限り、契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェアおよびその複製物を削除するものとし、ソニーが求めるときはその旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

第13条(契約の改定)

ソニーは、法令で認められた範囲において、本契約を隨時改定ができるものとします。ソニーは、改定後の本契約の適用開始に先立ち、改定内容等に照らしてソニーが合理的と判断する事前告知期間を設定したうえで(ただし、本契約の改定内容がお客様の一般の利益に適合するものである場合は事前告知期間を定めないができるものとします)、改定後の本契約の条件をお客様が登録した電子メールアドレスへの電子メールの発信、ソニー所定のサイトでの告知またはその他ソニーが適切と判断する方法をもってお客様に周知いたします。

第14条(ユーザー登録の抹消等)

- お客様は、本製品を譲渡または破棄する場合、または本契約が終了した場合には、本製品を工場出

荷時の状態に戻すものとします。

- お客様は、本製品を通じて取得したアカウント、ユーザー名、パスワードに関する情報の秘密保持について一切の責任を負うものとします。

第15条(デジタル著作権管理(PlayReady等))

コンテンツの所有者は、マイクロソフトのPlayReady™コンテンツアクセス技術(以下「PlayReady」とします)を用いて、自らの知的財産権(著作権で保護されたコンテンツを含む)を保護している場合があります。

本製品は、PlayReady技術を用いて、PlayReadyにより保護されているコンテンツ及びマイクロソフトのWindows Media デジタル著作権管理技術により保護されているコンテンツを利用している場合があります。万一、本製品がコンテンツの使用に対して適切な制限を加えることができない場合、コンテンツの所有者は、Microsoft Corporation(以下「マイクロソフト」とします)に対して、PlayReadyにより保護されるべきコンテンツの、本製品における利用の取消を要求する可能性があります。なお、もともと保護されていないコンテンツや、他のコンテンツアクセス技術により保護されているコンテンツは、かかる取消による影響を受けません。また、コンテンツの所有者は、コンテンツを使用するにあたりPlayReadyの更新を求める場合があり、かかる更新が行なわれない場合、使用者はかかるコンテンツの使用ができなくなります。また、コンテンツの所有者は、上記以外のデジタル著作権管理技術(以下「DRM」とします)を用いて、自らの知的財産権(著作権で保護されたコンテンツを含む)を保護している場合や、コンテンツを使用するために使用者に対してDRMの更新を求める場合があり、かかる更新が行なわれない場合、使用者はかかるコンテンツの使用ができなくなる場合があります。

第16条(その他)

- 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
- お客様は、許諾ソフトウェアを日本国外に持ち出して使用する場合、適用ある輸出管理規制、法律、命令に従うものとします。
- 本契約は、消費者契約法を含む消費者保護法規が適用される場合におけるお客様の権利を不利益に変更するものではありません。
- 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。
- ソニーの関係会社および原権利者は本契約の第三受益者として取り扱われるものとし、関連する本契約上の権利を直接行使しあるいは免責等を援用することができるものとします。
- 本契約に定めなき事項または本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様およびソニーは誠意をもって協議し、解決するものとします。お客様とソニーとの間に本契約に関連して訴訟の必要が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

索引

あ行

- インターネット 42
- 枝番選局 10
- オーディオ機器 40
- オプション 34
- 音質・音声設定 29
- 音声切換 25

か行

- 画質・映像設定 28
- 壁掛けユニット 67
- かんたん設定 32
- 機器設定 31
- ケーブルテレビ 51
- ゲーム機 39
- 高速起動 33

さ行

- 再生 23, 27, 61
- 視聴制限 25, 31
- 視聴予約 12, 18
- 字幕言語 25
- ジャンル検索 12, 17
- 受信機情報表示 33
- 受信設定 32
- 消去 26
- 接続 7, 36
- 設定 28
- ソフトウェア更新 67

た行

- タイマー設定 31
- 端子 7
- チャプター 19, 24
- チャンネル設定 32
- 通信設定 30
- データ放送 12, 13
- 電源スタンバイ 19
- 問い合わせ先 52
- 登録 36
- 登録解除 37

な行

- 二重音声 25
- 日時指定予約 18
- 入力切換 27

は行

- パソコン 27, 41
- 番組表 11
- 番組名編集 27
- プロジェクト 16, 21, 26

ま行

- 毎回録画 16, 21
- 毎週予約 16, 18, 21
- 毎日予約 16, 18, 21
- 文字入力 65

や行

- 優先順位 14
- 有料放送 51
- 予約 14
- 予約重複 14
- 予約変更 20
- 予約リスト 20

ら行

- ラジオ放送 13
- リピート再生 24
- リモコン 8, 57
- 履歴削除 22
- 録画 14, 36, 61
- 録画可能時間 14
- 録画停止 19
- 録画リスト 23

アルファベット

- ARC 30, 40
- BDレコーダー 27, 39
- HDMI入力 39, 40, 41
- HDMI連動設定 32
- LAN 42
- LED 6
- PC入力対応信号表 64
- USB端子 36
- USBハードディスク 14, 36, 38

保証書

出張修理

品名	液晶テレビ
型名	K-32W840
お買上げ日	年 月 日

Sample

保証書は製品に同梱されている取扱説明書に印刷されたものをご使用ください。

保証期間	お買上げの日から	1年		
お客様住所 お名前		電話	-	-

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、（1）お買上げのお店、（2）お近くのソニーサービスステーション、（3）本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。

3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

(1)本書のご提示がない場合 (2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合 (3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合 (4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷 (5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷 (6)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷 (7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷 (8)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、もしくは製品自体が記録媒体の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理 × 王

*本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
*保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。

T07-2